令和 6年度　施策評価表

施策名	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進		
SDGｓ（関連性のあるGOAL）				
基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化			
所管部長	区民文化部長	所管課長	スポーツ振興課長	
関連所管	施設経営課　みどりと公園課			

【施 策 基 本 情 報 】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
【概要（目標）】 スポーツを「する・観る・支える」の３つの観点から施設の効果的・効率的な活用、地域の活性化や一体感の創出を推進し、だれもがスポーツに親しみやすい環境を整える。 【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 関係機関・事業者・財団へスポーツ活動に対し支援する。また、自主的なスポーツ活動を展開する。 区民はスポーツを「する・観る・支える」ことを通じて親しむ。 【主な取り組み】 スポーツ施設運営・整備、スポーツプロモーション事業、高齢者スポーツ振興など	誰もが安全・安心な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、楽しみ、また、気軽にスポーツを支える活動にも参画できる機会が多く存在している。 それにより、コロナ禍で低下した運動習慣の回復、改善に貢献出来ている。 また、東京2020大会終了後のレガシーとして区ゆかりのトップアスリートなどを起用しながらさまざまなスポーツイベントを実施した。また体育施設のバリアフリー化や改修を進めパラスポーツの普及促進も実現している。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度 実績	令和 4年度 実績	令和 5年度 実績	令和 6年度 計画	目標値 目標年度
施策指標	①	スポーツ施設の利用者	万人	125.0	153.0	160.0	179.0	182.0
			達成率(%)	68.7	84.1	87.9	98.4	令和 7年度
	②	週１回以上スポーツを行っている区民の割合	%	55.1	—	57.4	—	70.0
			達成率(%)	78.7	—	82.0	—	令和 7年度
	③	スポーツ推進委員の事業出席者数	人	497.0	1,200.0	1,252.0	1,310.0	1,310.0
			達成率(%)	37.9	91.6	95.6	100.0	令和 7年度
	④	プロスポーツイベント観戦者数	人	15,344.0	17,428.0	20,784.0	18,000.0	18,000.0
			達成率(%)	85.2	96.8	115.5	100.0	令和 7年度
	⑤	スポーツイベント等参加者・来場者	人	22,640.0	68,964.0	64,849.0	90,600.0	90,600.0
			達成率(%)	25.0	76.1	71.6	100.0	令和 7年度

特記事項

指標②は区民意識意向調査に基づくため隔年で実績報告。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	1,393,747	1,677,366	1,979,448	1,752,471	2,647,885
	事業費		千円	847,583	1,163,789	1,452,266	1,144,432	1,465,630
		特定財源 国庫支出金	千円	0	14,343	0	0	0
		特定財源 都支出金	千円	2,694	2,411	114	7,662	30,413
		特定財源 特別区債	千円	0	0	0	0	0
		特定財源 受益者負担	千円	0	1,253	2,357	1,234	1,357
		特定財源 その他	千円	24,839	21,108	48,294	56,964	18,788
		一般財源	千円	820,050	1,124,674	1,401,501	1,078,572	1,415,072
	人件費合計		千円	90,565	53,530	69,581	88,768	107,954
	経費		千円	455,599	460,047	457,601	519,271	1,074,301

フルコストの増減理由

施設改修経費に対しての補助金がR4に比べ増加した（適用できるものが増えた）ため、フルコストは減少している。

施策名	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容

評価標語／改善の方向性	概ね順調／工夫して継続	

体育施設利用者数は増加傾向にあり、利用者満足度についても目標値に近づいている。

前回の評価結果への対応状況

対応状況	対応済	

【一次評価】所管部長による評価

［成果の分析］ 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移

評価	概ね順調	

スポーツ施設利用者やプロスポーツイベント観覧者数も前年度と比べ増加傾向であり、他の施策と共に引き続き目標達成に向け尽力していく。

［成果の分析］ 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因

［アウトカムの分析］ 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か

評価	妥当	

最終アウトカム【誰もが安全・安心な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、楽しみ、また、気軽にスポーツを支える活動にも参画できる機会が多く存在している】を実現するためには、魅力あるスポーツイベントの開催や、快適なスポーツ施設環境の整備が必要不可欠である。このように、中間アウトカム「スポーツ機会の創出」「スポーツ環境の充実」の推進が最終アウトカムに寄与している。

［環境変化の分析］ 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）

評価	一部対応済	

アフターコロナを迎え、人々が新しい生活様式を模索・確立していく中で生まれたスポーツに対する価値観の変化を汲み取り、スポーツに親しむまちづくりの推進をしていく。

［今後の展開方針］ 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか

22か所ある体育施設は老朽化が進んでいるものが多く、コロナ渦で縮小・停止していた施設改修のスピードを高めるため、来年度のサマカンにも多くの改修案件をエントリーする予定である。利用者に選んでもらえるようなスポーツ環境整備を進めて最終アウトカムの実現を目指していく。

【二次評価】区の最終評価

評価評語／改善の方向性	《順調／工夫して継続》

アフターコロナにおけるスポーツ機会の確保や体力向上に向けた取り組みについて、区民ニーズを的確に捉えながら進めていくこと。また、施設については、老朽化の状況も踏まえ、関係所管・指定管理者と密に連携し、整備、運営を進めること。スポーツに親しむまちづくりを進めていくため、周辺地域のまちづくりと一体となった取組を推進すること。

【施策を構成する事務事業一覧】

（単位：千円）

事務事業名	Ｒ　５年度決算 フルコスト	Ｒ　６年度予算 フルコスト
220100 -001 スポーツ推進委員経費	12,239	13,921
220100 -002 区民体育大会	13,377	13,649
220100 -003 スポーツ競技会	13,006	15,876
220100 -004 板橋Ｃｉｔｙマラソン	23,461	33,767
220100 -005 スポーツプロモーション	17,813	15,852
220100 -006 （公財）植村記念財団運営助成	112,116	669,165
220100 -007 （公財）板橋区体育協会運営助成	27,847	27,594
220100 -008 事務諸経費	10,529	10,780
220100 -009 体育施設運営経費	1,519,190	1,844,351
220100 -010 高齢者スポーツ振興	2,893	2,930

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）　モニタリング

事務事業名	220100 － 001	スポーツ推進委員経費			
担当所属	スポーツ振興課	担当者	－	連絡先	3579-2652
関連所属					

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進			
根拠法令要綱	スポーツ基本法第32条 東京都板橋区スポーツ推進委員に関する規則				
計画事業番号		事業期間	昭和36年度　～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 各地区の青少年健全育成地区委員会推薦、総合型地域スポーツクラブ推薦、その他 【手段】 ユニバーサルスポーツの推進など、スポーツ振興施策における重点の変化に応じて、スポーツ実技指導等を踏まえつつ、区民に身近な立場からスポーツ振興を図る。 【意図】 区民及び団体に対し、スポーツ実技の指導、その他スポーツに関する指導、助言及び地域スポーツのコーディネーターとしての役割を担い、スポーツ振興を図る。 【成果】 各種事業、研修等を通じて区民に対するスポーツ指導や助言を行うとともに、地域スポーツのコーディネーターとして地域スポーツの活性化に寄与している。	【現状の周辺環境】 平成23年にスポーツ基本法が施行された。体育指導員の名称がスポーツ推進委員に変更され、従来のスポーツ実技指導等に加え、スポーツ事業のコーディネーターとしての役割が求められるようになり、区民に身近な立場からスポーツ振興を図るものへと変化している。 【今後の予想される周辺環境】 シャフルボードやペットボトルクップ等のニュースポーツの普及啓発やスポーツ推進委員協議会の自主事業増加に伴い、より安全で効率的な事業実施の方法を検討する必要がある。 【区民からの意見】 ドッジボールなどの審判協力依頼や、ふるさといたばし体操出張講習依頼などがあり、地域住民からの求めに応じた活動も行っている。 【他自治体との比較】 スポーツ推進委員はスポーツ基本法において、特別職の非常勤職員として、法的な位置づけがなされており、他自治体においても同様の活動を行っている。

【指 標 の 推 移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	定員（計画数）	人	58.0	59.0	60.0	59.0	98.3	60.0	60.0
		達成率(%)	96.7	98.3	100.0	98.3		100.0	令和 6年度
② 成果指標	事業出席者数	人	497.0	1,200.0	1,310.0	1,252.0	95.6	1,200.0	1,200.0
		達成率(%)	41.4	100.0	109.2	104.3		100.0	令和 6年度

特記事項

令和５年度に追加事業があったため目標値を上昇させた。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	11,642	12,499	13,002	12,239	13,921
事業費			千円	5,879	6,734	7,163	6,400	8,082
	特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都支出金	千円	0	0	0	0	0
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源		千円	5,879	6,734	7,163	6,400	8,082
人件費			千円	5,763	5,765	5,839	5,839	5,839
	正職員		千円	5,763	5,765	5,839	5,839	5,839
		人員	人	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
	再任用等		千円	0	0	0	0	0
		人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員		千円	0	0	0	0	0
経費			千円	0	0	0	0	0
	減価償却費		千円	0	0	0	0	0
	その他		千円	0	0	0	0	0
コスト指標	スポーツ推進委員一人あたり		千円	200.72	211.85	216.70	207.44	235.95

フルコストの増減理由

令和６年度は委嘱年度であり、推進委員の入れ替えに伴う費用が発生することから、令和５年度予算と比較して増額

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）　モニタリング

事務事業名	220100 － 002	区民体育大会				
担当所属	スポーツ振興課		担当者	－	連絡先	3579-2651
関連所属						

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進			
根拠法令要綱					
計画事業番号		事業期間	昭和22年度　～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 区内在住、在勤及び在学者（競技種目により一部条件が異なる）。 【手段】 区民が日頃の練習の成果を発揮する区の唯一の総合体育大会として開催している。 【意図】 多数の競技種目（３３種目）を実施することで、区民が様々なスポーツに親しみ、健康増進と体力向上を図ることで、区民生活を明るく豊かにする。 【成果】 区民が様々なスポーツに親しむ機会や日頃の練習の成果を発揮する場となっている。また、当該大会の成績優秀者（チーム）を都民体育大会の出場者（チーム）として各競技団体が推薦することで、区民の競技意欲向上に繋がっている。	【現状の周辺環境】 区立体育施設等を使用し３３種目の競技大会を開催。 【今後の予想される周辺環境】 アフターコロナ、ウィズコロナの観点を取り入れた大会運営のあり方を検討していく。 【他自治体との比較】 他自治体も同様に区民体育大会を開催している。

【指 標 の 推 移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	区民体育大会参加者数	人	—	11,359.0	17,000.0	12,059.0	0.0	17,000.0	0.0
		達成率(%)	—	0.0	0.0	0.0		0.0	—
②									
		達成率(%)							
③									
		達成率(%)							
④									
		達成率(%)							
⑤									
		達成率(%)							

特記事項

令和２年度、３年度とも新型コロナウイルスの影響により全種目中止となったが、令和４年度より実施再開。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	2,901	10,941	13,579	13,377	13,649
事業費			千円	431	8,470	11,076	10,874	11,146
	特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都支出金	千円	0	0	0	0	0
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源		千円	431	8,470	11,076	10,874	11,146
人件費			千円	2,470	2,471	2,503	2,503	2,503
	正職員		千円	2,470	2,471	2,503	2,503	2,503
		人員	人	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	再任用等		千円	0	0	0	0	0
		人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員		千円	0	0	0	0	0
経費			千円	0	0	0	0	0
	減価償却費		千円	0	0	0	0	0
	その他		千円	0	0	0	0	0
コスト指標	参加者一人あたりの経費		千円	—	0.96	0.80	1.11	0.8

フルコストの増減理由

令和２，３年度とも大会を中止したが、令和４年度から開会式を縮小し開催。

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）　モニタリング

事務事業名	220100 － 003	スポーツ競技会			
担当所属	スポーツ振興課	担当者	－	連絡先	3579-2652
関連所属					

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進			
根拠法令要綱					
計画事業番号		事業期間	昭和22年度　～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要

【対象】
①剣道開放事業⇒区民・区在学等
②都民体育大会⇒区民、または都民で区在勤等の方
③城北大会（柔道、剣道、ソフトテニス、陸上、バレーボール、卓球）⇒板橋区、練馬区、北区、豊島区、荒川区の各競技連盟所属の方
④ウォーキング大会⇒制限なし
⑤スポーツフェスティバルin板橋⇒区民
⑤スポーツマッチングテスト⇒区民・近隣区（北区・練馬区）在住等
⑥インクルーシブスポーツ体験会⇒区民・近隣区（北区・練馬区）在住等
⑦ユニバーサルスポーツ体験会⇒どなたでも
【手段】
大会の開催
【意図】
練習の成果を発揮する場の提供及び区民の競技意欲の向上を図る。また、地域のスポーツ振興と競技交流や親善を図る。
【成果】
競技意欲の向上と実施競技の定着化が図られている。また、スポーツ・レクリエーション活動の機会拡充に繋がっている。

環境変化・備考

【現状の周辺環境】
練習の成果を発揮する場の提供及び区民の競技意欲の向上並びにスポーツ・レクリエーション活動の機会拡充を図るとともに、都民体育大会、城北地区大会等においては、スポーツを通じて他自治体との親睦や競技交流を図っている。令和３年度以降については、従前、区が主催していた「少年少女サッカー選手大会」については、サッカー連盟主催とし、「区民ドッジボール大会」についてもドッジボール連盟とスポーツ推進委員の共催とし、官から民への移管を行った。また、令和５年度より「スポーツフェスティバル」や「スポーツマッチングテスト」等の新規事業を実施し、区民及び近隣区民がスポーツを日常的に行う習慣の定着を図っている。
【他自治体との比較】
他自治体も同様に各種競技会を開催している。また、城北地区大会については近隣区と連携し大会の運営を行っている。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
				実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①	活動指標	ウォーキング大会参加者数	人	0.0	1,236.0	1,200.0	1,065.0	88.8	1,200.0	1,200.0
			達成率(%)	0.0	103.0	100.0	88.8		100.0	令和 6年度
②	活動指標	都民体育大会参加者数	人	10.0	406.0	450.0	517.0	0.0	450.0	450.0
			達成率(%)	2.2	90.2	100.0	0.0		0.0	令和 7年度
③	活動指標	スポーツマッチングテスト参加者数	人	0.0	0.0	300.0	251.0	83.7	300.0	300.0
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	83.7		100.0	令和 6年度
④	活動指標	ユニバーサル（インクルーシブ）スポーツ体験会参加者数	人	0.0	0.0	500.0	150.0	30.0	500.0	500.0
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	30.0		100.0	令和 6年度
⑤	活動指標	スポーツフェスティバルｉｎ板橋参加者数	人	0.0	0.0	10,000.0	10,000.0	0.0	10,000.0	10,000.0
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	0.0		100.0	令和 6年度

特記事項

令和４年度より、ウォーキング大会が「スポーツ競技会」に加わる。令和５年度より、４新規事業を実施。
スポーツマッチングテストは８月（300人計画）・１０月の２回開催。うち１０月はインクルーシブスポーツ体験会（マッチングテストと合わせて500人計画）と同日開催。スポーツフェスティバルｉｎ板橋は９月開催：10,000人で計画した。令和６年度はサマカン事業として「ユニバーサルスポーツ体験会」「スポーツマッチングテスト（城北中央公園）」を実施予定。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	2,822	6,360	13,796	13,006	15,876
事業費			千円	1,175	3,889	11,293	10,503	13,373
	特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都支出金	千円	0	35	0	1,327	2,017
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	0	591	1,000	659	1,000
		その他	千円	0	0	4,172	0	0
	一般財源		千円	1,175	3,263	6,121	8,517	10,356
人件費			千円	1,647	2,471	2,503	2,503	2,503
	正職員		千円	1,647	2,471	2,503	2,503	2,503
		人員	人	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3
	再任用等		千円	0	0	0	0	0
		人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員		千円	0	0	0	0	0
経費			千円	0	0	0	0	0
	減価償却費		千円	0	0	0	0	0
	その他		千円	0	0	0	0	0
コスト指標			千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

令和5年度より、新規事業を実施したため大幅に増加。

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）　モニタリング

事務事業名	220100 － 004	板橋Ｃｉｔｙマラソン				
担当所属	スポーツ振興課		担当者	－	連絡先	3579-2652
関連所属						

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220100　スポーツに親しむまちづくりの推進				
根拠法令要綱					
計画事業番号		事業期間	平成10年度　～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 ・平成16年（2004年）4月1日以前に生まれた方（19歳以上） 【手段】 マラソン大会の開催（フルマラソン・5km・ジュニア3km・車いす1km） 【意図】 新しい生活様式におけるランナーの走る機会の提供、参加資格拡大等による健康増進への取組の推進、板橋区と自然豊かな荒川の魅力発信を目的とする。 【成果】 2019板橋Cityマラソン以来、５年ぶりにフルマラソンに加え、サブ種目(5km・ジュニア3km・車いす1km)及び模擬店等の飲食ブースの出展を復活、ゲストランナーの充実を行い、開催した。大会当日は、高気温や強風等の要因により、数件緊急搬送案件があったが、無事大会を終えることができた。また、事業実施を通じて、実業団所属選手や学生ランナー、市民ランナーが日ごろの成果を存分に発揮する機会を創出するとともに、オープニングセレモニーにおいては、区の伝統を伝える西洋流火術鉄砲隊保存会による演舞を行う等、大会を通じて大会ブランドの向上と区の魅力を大いに感じることができる事業となった。	【アンケート・統計調査】 大会参加者へアンケート調査を行い、アンケート結果を基に改善を図ることでサービスの向上に努めている。 ※アンケート回収数 （平成29年度2,273件、平成30年度2,001件、令和元年度中止、令和2年度（オンライン）422件、令和3年度（オンライン）275件、令和4年度1,205件、令和5年度1,102件） 【他自治体との比較】 都内の日本陸連公認コースで開催されるフルマラソン大会については、「板橋Cityマラソン」と「東京マラソン」のみである。令和２年度、３年度はコロナ対策のためオンライン等を活用した方式による大会を開催した。令和４年度はフィニッシャーメダルの配布を行うとともに、ペースランナーの新設やふるさと納税枠エントリー新設を行った。さらに令和５年度からはランニングインフルエンサーの招致等を行うとともに、WRkを取得したことで、海外からのエントリーも増え、全体的なエントリー者数の増加に寄与した。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
				実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①	活動指標	参加者数	人	1,169.0	8,926.0	11,500.0	9,764.0	84.9	11,500.0	11,500.0
			達成率(%)	10.2	77.6	100.0	84.9		100.0	令和 6年度
②	成果指標	参加者アンケート※大会運営満足度	%	85.0	92.9	90.0	80.0	88.9	90.0	90.0
			達成率(%)	94.4	103.2	100.0	88.9		100.0	令和 6年度
③	成果指標	会場内出展ブース数	団体	0.0	9.0	20.0	18.0	90.0	20.0	20.0
			達成率(%)	0.0	45.0	100.0	90.0		100.0	令和 6年度

特記事項

・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度、3年度はオンライン方式で大会を実施。
・令和４年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、定員の削減（15,000人から10,000人）、サブ種目の休止等の対応を行った。
・令和５年度はサブ種目を再開した。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	14,490	19,651	19,779	23,461	33,767
事業費			千円	4,610	9,769	9,769	13,451	23,757
	特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都支出金	千円	0	0	0	0	0
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	3,687	2,363	6,251	6,251	6,400
	一般財源		千円	923	7,406	3,518	7,200	17,357
人件費			千円	9,880	9,882	10,010	10,010	10,010
	正職員		千円	9,880	9,882	10,010	10,010	10,010
		人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
	再任用等		千円	0	0	0	0	0
		人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員		千円	0	0	0	0	0
経費			千円	0	0	0	0	0
	減価償却費		千円	0	0	0	0	0
	その他		千円	0	0	0	0	0
コスト指標	参加者一人あたり		千円	12.40	2.20	1.72	2.04	2.94

フルコストの増減理由

令和2年度はオンラインマラソンによる経費減。令和3年度事業費は緊急財政対策により、１０％減。令和5年度は物価高騰により、警備費等が増額したため、増額補正した。令和6年度は、令和5年度よりも警備費等の更なる増額が見込まれるため、当初予算も大幅に増額した。

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）　モニタリング

事務事業名	220100 － 005	スポーツプロモーション			
担当所属	スポーツ振興課	担当者	－	連絡先	3579-2652
関連所属					

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進			
根拠法令要綱					
計画事業番号	040	事業期間	平成27年度　～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 ①横浜エクセレンス観戦デー⇒区内在住、在学の小中学生 ②東京ヴェルディ区民観戦デー⇒板橋区に在住、在勤、在学の方 ③東京ヴェルディバレーボールチーム試合観戦⇒板橋区在住、在学の小学生 【手段】 スポーツ大使やプロスポーツチームとの連携を通じた、各種スポーツ教室やイベントの実施 【意図】 スポーツへの興味・関心を高めること及び競技の普及・啓発 【成果】 区民がスポーツを身近に感じ、親しむことができる環境の整備	【現状の周辺環境】 令和４年度は、事業実施が３年ぶりということもあり、例年より募集人数に対する申込者数が多く、抽選倍率が高くなる傾向があった。 令和５年度より、一般社団法人東京ヴェルディクラブが運営するプロバレーボールチームと区立体育館におけるバレーボール教室の開催等に関する確認書を取り交わした。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
				実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①	活動指標	事業実施回数	回	0.0	7.0	5.0	6.0	120.0	5.0	5.0
			達成率(%)	0.0	140.0	100.0	120.0		100.0	令和 6年度
②	活動指標	事業参加者数	人	0.0	1,249.0	1,080.0	677.0	62.7	580.0	580.0
			達成率(%)	0.0	215.3	186.2	116.7		100.0	令和 6年度
③	成果指標	東京エクセレンス試合観戦者数	人	2,806.0	2,916.0	2,000.0	1,876.0	93.8	2,000.0	2,000.0
			達成率(%)	140.3	145.8	100.0	93.8		100.0	令和 6年度
④	成果指標	東京ヴェルディ及び日テレ・東京ヴェルディベレーザ試合観戦者数	人	12,538.0	16,433.0	13,500.0	18,150.0	134.4	13,500.0	13,500.0
			達成率(%)	92.9	121.7	100.0	134.4		100.0	令和 6年度
⑤	成果指標	東京ヴェルディバレーボールチーム公式戦観戦者数	人	0.0	718.0	1,000.0	840.0	84.0	1,000.0	1,000.0
			達成率(%)	0.0	71.8	100.0	84.0		100.0	令和 6年度

特記事項

令和３年度に７月１日付で「東京エクセレンス」がホームタウンを横浜市に移転し「横浜エクセレンス」へ名称を変更した。令和４年度については、オリパラレガシー事業が「スポーツプロモーション」に加わるため、「事業実施回数」「事業参加者数」の目標値を増加させた。令和５年度については、「さわやかサッカー教室」の廃止（外部移管）及びパラスポーツ体験会の休止に伴い、「事業実施回数」「事業参加者数」を減少させた。また、デーランの定員も安全な実施のために1,000名から500名へ減少させた。令和６年度についてはデーランが廃止となったため、事業参加者数が500名減少している。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	13,382	18,312	19,916	17,813	15,852
事業費			千円	209	5,136	6,569	4,466	2,505
	特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都支出金	千円	0	2,272	0	0	1,071
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	0	469	1,125	369	125
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源		千円	209	2,395	5,444	4,097	1,309
人件費			千円	13,173	13,176	13,347	13,347	13,347
	正職員		千円	13,173	13,176	13,347	13,347	13,347
		人員	人	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
	再任用等		千円	0	0	0	0	0
		人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員		千円	0	0	0	0	0
経費			千円	0	0	0	0	0
	減価償却費		千円	0	0	0	0	0
	その他		千円	0	0	0	0	0
コスト指標			千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

令和２年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により全ての事業が中止となった。
令和３年度については、緊急財政対策により全ての事業を休止とした。
令和４年度は事業実施した。

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）　モニタリング

事務事業名	220100 － 006	（公財）植村記念財団運営助成			
担当所属	スポーツ振興課	担当者	－	連絡先	2651
関連所属					

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進			
根拠法令要綱					
計画事業番号		事業期間	～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【手段】 運営費を助成する 【意図】 登山などのアウトドア講座や植村冒険館を円滑に運営できるようにするため 【成果】 冒険家・植村直己の冒険精神「ウエムラ・スピリット」を永く後世に伝える	【現状の周辺環境】 国民栄誉賞を受賞し、世界を代表する冒険家である植村直己氏を顕彰する建物は当館と兵庫県豊岡市にある「植村直己冒険館」の２館のみである。 【今後の予想される周辺環境】 令和3年度に蓮根からリニューアルオープンした加賀スポーツセンター内へ移転したため、今までとは異なる層の来館者増が実現し、今後もスポーツセンター利用者に積極的に植村冒険館へも足を運ぶよう、アピールしてゆく。 【他自治体との比較】 兵庫県豊岡市にある植村直己冒険館とは情報共有など連携を深めている。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
				実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①	活動指標	来館者数	人	19,886.0	43,453.0	50,000.0	38,497.0	0.0	500,000.0	50,000.0
			達成率(%)	39.8	86.9	100.0	0.0		0.0	令和 7年度
②	活動指標	自然塾・アドベンチャー講座の実施	回	1.0	12.0	20.0	17.0	0.0	20.0	20.0
			達成率(%)	5.0	60.0	100.0	0.0		0.0	令和 7年度
③	活動指標	自然塾・アドベンチャー講座参加者延べ人数	人	10.0	184.0	412.0	291.0	0.0	412.0	412.0
			達成率(%)	2.4	44.7	100.0	0.0		0.0	令和 7年度
④										
			達成率(%)							
⑤										
			達成率(%)							

特記事項

令和３年度　同理由休館（令和3年4月27日～5月31日）及び事業中止あり、蓮根から加賀へ移転のため休館(令和3年8月29日～12月17日)

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	46,692	31,358	112,116	112,116	669,165
事業費			千円	24,634	31,358	31,259	31,259	33,278
	特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都支出金	千円	0	0	0	0	0
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源		千円	24,634	31,358	31,259	31,259	33,278
人件費			千円	18,936	0	19,187	19,187	19,187
	正職員		千円	18,936	0	19,187	19,187	19,187
		人員	人	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
	再任用等		千円	0	0	0	0	0
		人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員		千円	0	0	0	0	0
経費			千円	3,122	0	61,670	61,670	616,700
	減価償却費		千円	3,122	0	61,670	61,670	616,700
	その他		千円	0	0	0	0	0
コスト指標	来館者等一人当たりの経費		千円	2.35	0.72	2.24	2.91	13.38

フルコストの増減理由

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）　モニタリング

事務事業名	220100 － 007	（公財）板橋区体育協会運営助成			
担当所属	スポーツ振興課	担当者	－	連絡先	2651
関連所属					

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進			
根拠法令要綱					
計画事業番号		事業期間	～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 板橋区民向けにスポーツの普及振興事業を行う（公財）板橋区体育協会（令和6年度より板橋区スポーツ協会に名称変更） 【手段】 運営費を助成する 【意図】 スポーツ振興事業を円滑に運営できるようにするため 【成果】 区内におけるスポーツの普及振興を図り、区民の心身の健全な育成と明るく豊かな生活の形成に寄与し、健康で活力のある地域社会づくりに貢献する	【現状の周辺環境】 公益法人改革に伴い、平成24年4月1日付で公益財団法人に移行。区民の生涯学習に対するニーズの多様化により生涯スポーツ・レクリエーション活動への関心がますます高まるなか、積極的なスポーツの普及・振興への取り組みを期待されている。令和6年度より（公財）板橋区体育協会から（公財）板橋区スポーツ協会に名称変更。 【他自治体との比較】 他自治体においても同様に補助金を支出している。 【備考】 主催事業である「高島平ロードレース」（最長20キロ）は、令和3年度からハーフマラソンへ名称変更。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
				実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①	活動指標	指導者育成講習会参加者数	人	1,021.0	1,235.0	1,250.0	744.0	59.5	1,250.0	1,250.0
			達成率(%)	92.8	112.3	100.0	59.5		0.0	令和 7年度
②	活動指標	スポーツ振興事業・講習会研修会事業数	事業	9.0	15.0	17.0	16.0	94.1	17.0	17.0
			達成率(%)	52.9	88.2	100.0	94.1		0.0	令和 7年度
③	活動指標	高島平ロードレース参加者数	人	0.0	0.0	1,600.0	1,123.0	70.1	1,600.0	1,600.0
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	70.1		0.0	令和 7年度
④										
			達成率(%)							
⑤										
			達成率(%)							

特記事項

令和2、3、4年度とも　新型コロナウイルス感染拡大の影響により、高島平ロードレース中止。
なお、令和3年度より高島平ロードレースから「板橋区・高島平ハーフマラソン」へ名称変更。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	9,564	9,111	27,847	27,847	27,594
事業費			千円	9,564	9,111	12,489	12,489	12,236
特定財源	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0
	都支出金		千円	0	0	0	0	0
	特別区債		千円	0	0	0	0	0
	受益者負担		千円	0	0	0	0	0
	その他		千円	0	0	0	0	0
一般財源			千円	9,564	9,111	12,489	12,489	12,236
人件費			千円	0	0	15,358	15,358	15,358
	正職員		千円	0	0	2,503	2,503	2,503
		人員	人	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	再任用等		千円	0	0	12,855	12,855	12,855
		人員	人	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	その他職員		千円	0	0	0	0	0
経費			千円	0	0	0	0	0
	減価償却費		千円	0	0	0	0	0
	その他		千円	0	0	0	0	0
コスト指標	参加者一人当たりの経費		千円	9.37	7.38	9.28	37.43	22.08

フルコストの増減理由

R3は新型コロナウイルス感染症の影響により、ロードレース(R3よりハーフマラソン)を始め、講習会等が中止となっている。
R4はハーフマラソン以外の事業は実施。R5はすべての事業を実施したため経費が増となった。

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）　モニタリング

事務事業名	220100 － 008	事務諸経費				
担当所属	スポーツ振興課		担当者	－	連絡先	2651
関連所属						

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進			
根拠法令要綱					
計画事業番号		事業期間	～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 スポーツ振興課の他事業に属さないもの 【手段】 消耗品等必要経費を支出する 【意図】 スポーツ振興の事務事業を円滑に実施するため 【成果】 各事業の下支えをする	【現状の周辺環境】 関係団体や個人が大きな大会で好成績をおさめる、あるいは出場する際に区へ表敬訪問を受けている。 【他自治体との比較】 他自治体においても大会出場者の懸垂幕を掲出する等、同様の事業を展開している。 【備考】 板橋区スポーツセミナーは、緊急経済対策に伴う事業見直しの一環により、令和3年度から委託事業ではなく、共催事業とした。 （区の役割は会場確保等とし、委託料の費用負担なし）

【指 標 の 推 移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	ボランティア保険利用人数	人	1,777.0	1,720.0	1,800.0	1,734.0	96.3	1,800.0	1,800.0
		達成率(%)	98.7	95.6	100.0	96.3		0.0	令和 7年度
②									
		達成率(%)							
③									
		達成率(%)							
④									
		達成率(%)							
⑤									
		達成率(%)							

特記事項

活動指標「青少年スポーツ指導者講習会」は事務事業名220100-007の活動指標①指導者育成講習会参加者数に移行するため削除。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	13,527	10,630	10,781	10,529	10,780
事業費	千円	1,177	748	771	519	770
特定財源 国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源 都支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源 特別区債	千円	0	0	0	0	0
特定財源 受益者負担	千円	0	0	0	0	0
特定財源 その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	1,177	748	771	519	770
人件費	千円	12,350	9,882	10,010	10,010	10,010
正職員	千円	12,350	9,882	10,010	10,010	10,010
人員	人	1.5	1.2	1.2	1.2	1.2
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標 —	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）

事務事業名	220100 － 009	体育施設運営経費			
担当所属	スポーツ振興課	担当者	－	連絡先	2651
関連所属					

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進			
根拠法令要綱	東京都板橋区立体育施設条例、同施行規則				
計画事業番号	013	事業期間	～	施設種別	教育関連施設

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 体育施設を利用する区民 【手段】 体育施設の運営を行う 【意図】 区民のスポーツをする機会を増やす 【成果】 区内におけるスポーツの普及振興を図り、区民の心身の健全な育成と明るく豊かな生活の形成に寄与し、健康で活力のある地域社会づくりに貢献する	【現状の周辺環境】 平成１７年度より指定管理者による管理を行っている。施設の老朽化が進み、設備の整備経費が増加している。 【今後の予想される周辺環境】 今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、新しい生活様式にあわせた施設運営が求められていく。 【アンケート・統計調査】 指定管理者による体育施設利用者アンケートを年２回実施している。施設の充実度・清掃状況等、満足度は高い。 【備考】 令和3年9月1日に東板橋体育館は加賀スポーツセンターとしてリニューアルオープン。 令和5年2月新河岸陸上競技場公認継続改修工事、令和6年6月より新河岸陸上競技場管理棟改修工事開始予定、令和6年12月より加賀庭球場管理棟改修工事予定。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
				実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①	活動指標	体育施設利用者数	万人	125.0	153.0	176.0	160.0	90.9	182.0	182.0
			達成率(%)	68.7	84.1	96.7	87.9		100.0	令和 7年度
②	成果指標	利用者満足度の向上	%	93.3	93.5	94.0	92.0	97.9	94.0	94.0
			達成率(%)	99.3	99.6	100.0	97.9		100.0	令和 7年度
③										
			達成率(%)							
④										
			達成率(%)							
⑤										
			達成率(%)							

特記事項

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	1,278,727	1,555,683	1,857,839	1,519,190	1,844,351
事業費			千円	799,904	1,088,224	1,392,730	1,054,081	1,360,056
	特定財源	国庫支出金	千円	0	14,343	0	0	0
		都支出金	千円	2,694	0	0	6,214	27,197
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	21,152	18,745	37,871	50,713	12,388
		一般財源	千円	776,058	1,055,136	1,354,859	997,154	1,320,471
人件費			千円	26,346	7,412	7,508	7,508	26,694
	正職員		千円	26,346	7,412	7,508	7,508	26,694
		人員	人	3.2	0.9	0.9	0.9	3.2
	再任用等		千円	0	0	0	0	0
		人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員		千円	0	0	0	0	0
経費			千円	452,477	460,047	457,601	457,601	457,601
	減価償却費		千円	452,477	460,047	457,601	457,601	457,601
	その他		千円	0	0	0	0	0
コスト指標	利用者一人当たりの経費		千円	1.02	1.02	1.06	0.95	1.03

フルコストの増減理由

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）　モニタリング

事務事業名	220100 － 010	高齢者スポーツ振興			
担当所属	スポーツ振興課	担当者	－	連絡先	3579-2652
関連所属					

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進			
根拠法令要綱					
計画事業番号		事業期間	昭和52年度　～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 ①高齢者スポーツ大学⇒区内在住の65歳以上かつ医師から運動を止められていない全日程参加できる健康な方 ②シニアグラウンド・ゴルフ大会⇒区内在住・在勤の65歳以上で、医師に運動を止められていない方 【手段】 ①スポーツ教室の実施 ②競技大会の実施 【意図】 生涯スポーツの振興を図るため、中高年層を対象としたスポーツ事業・スポーツ教室及び大会を実施する。 【成果】 高齢者スポーツ大学修了者により、同窓会組織が設立され、事業終了後も様々なスポーツに親しんでいる。	【現状の周辺環境】 高齢者スポーツ事業については、各事業において定員を超える申し込みがある。特に高齢者スポーツ大学については、定員を大きく上回るため、これまで隔年で実施していたものを平成２２年度より毎年実施とした。 【他自治体との比較】 他自治体においても同様に高齢者スポーツ事業が行われている。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度 実績	令和 4年度 実績	令和 5年度 計画	令和 5年度 実績	令和 5年度 達成率(%)	令和 6年度 計画	目標値 目標年度
①	活動指標	高齢者スポーツ大学参加者数	人	0.0	58.0	60.0	59.0	98.3	60.0	60.0
			達成率(%)	0.0	96.7	100.0	98.3		100.0	令和 6年度
②	活動指標	シニアグラウンド・ゴルフ大会参加者数	人	0.0	132.0	200.0	162.0	81.0	200.0	200.0
			達成率(%)	0.0	66.0	100.0	81.0		100.0	令和 6年度
③										
			達成率(%)							
④										
			達成率(%)							
⑤										
			達成率(%)							

特記事項

高齢者スポーツ大学は、令和２年度は高齢者に向けた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会機運醸成事業を実施予定のため休止、令和３年度は新型コロナウイルスの関係で休止。シニアグラウンド・ゴルフ大会は新型コロナウイルスの関係で令和２年度は中止・令和３年度は休止。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	0	2,821	2,909	2,893	2,930
事業費	千円	0	350	406	390	427
特定財源 国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源 都支出金	千円	0	104	114	121	128
特定財源 特別区債	千円	0	0	0	0	0
特定財源 受益者負担	千円	0	193	232	206	232
特定財源 その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	0	53	60	63	67
人件費	千円	0	2,471	2,503	2,503	2,503
正職員	千円	0	2,471	2,503	2,503	2,503
人員	人	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標 —	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

講師人数による謝礼の増加

令和 6年度　施策評価表

施策名	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進							
SDGｓ（関連性のあるGOAL）									
基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち								
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化								
所管部長	教育委員会事務局次長		所管課長	生涯学習課長					
関連所管									

【施 策 基 本 情 報 】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
【概要】 文化財の活用や郷土芸能の普及によって、地域の歴史・文化を次世代へ継承する。 【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 板橋の歴史や伝統文化を理解し、未来へ保存・継承する。 【主な取り組み】 文化財公開事業 文化財教育普及事業 郷土資料館管理運営 近代化遺産群史跡公園の整備	・地域の歴史・文化を次世代に継承するために、各年代に応じた様々な事業が実施されている。 ・区民が、郷土資料館を通じて、板橋の魅力を再発見し、より一層郷土板橋への愛着と誇りが深まっている。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度 実績	令和 4年度 実績	令和 5年度 実績	令和 6年度 計画	目標値 目標年度
施策指標	①	文化財を活用した事業への参加率	%	59.0	73.1	81.8	60.0	60.0
			達成率(%)	98.3	121.8	136.3	100.0	令和 7年度
	②	入館者数（郷土資料館）	人	22,719.0	30,439.0	26,000.0	29,000.0	30,000.0
			達成率(%)	75.7	101.5	86.7	96.7	令和 7年度
	③	郷土芸能伝承館の施設利用率	%	32.1	40.0	42.5	60.0	60.0
			達成率(%)	53.5	66.7	70.8	100.0	令和 7年度
	④							
			達成率(%)					
	⑤							
			達成率(%)					

特記事項

指標①は、事業の定員に対する参加者の率である。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	331,671	321,549	304,159	317,628	390,729
事業費			千円	172,751	159,565	130,830	144,299	217,400
	特定財源	国庫支出金	千円	3,632	16,484	9,931	5,155	22,122
		都支出金	千円	32,785	8,241	4,965	2,578	11,061
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	1,238	1,540	1,556	1,270	1,556
		その他	千円	1,779	294	294	362	387
	一般財源		千円	133,317	133,006	114,084	134,934	182,274
人件費合計			千円	140,784	142,466	142,649	142,649	142,649
経費			千円	18,136	19,518	30,680	30,680	30,680

フルコストの増減理由

フルコストの増減は、施設の維持改修経費や史跡整備年度計画による各年度の事業内容に影響を受ける。

施策名	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容

評価標語／改善の方向性	－	

－

前回の評価結果への対応状況

対応状況	－	

－

【一次評価】所管部長による評価

［成果の分析］ 1.施策目標に対する成果（実績値）の推移

評価	概ね順調	

新型コロナウイルス感染症発生後の推移としては、①「文化財を活用した事業への参加率」は定員制限など対策を講じての実施を経て順調に上昇し、目標値を上回っている。分野を区切った小規模事業で、文化財に興味関心のある層の集客に成功していると考えられる。②「入館者数（郷土資料館）」は外出自粛などの影響により激減した後、令和4年度まで上昇し、令和5年度は前年度比4,439人（約15ポイント）の減となっているが、もともと年度の展示内容等により増減がある。③「郷土芸能伝承館の施設利用率」は緩やかな回復傾向にある。

［成果の分析］ 2.目標と成果にギャップがある場合の要因

郷土資料館入館者・郷土芸能伝承館利用者は比較的高齢者が多く、新型コロナウイルス感染症による数年にわたる行動制限を経て、以前の参加者が、健康状態や生活スタイルの変化により一定数離れてしまっている可能性がある。
また、前年度との比較では、行動制限がなくなったことにより外出先の選択肢が増えたことも要因として考えられる。

［アウトカムの分析］ 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か

評価	妥当	

最終アウトカム「文化財の活用や郷土芸能の普及による、地域の歴史・文化の次世代への継承」を実現するためには、行政による文化財の保護管理だけでなく、区民が文化財を自分たちの地域の財産としてとらえ、愛着と、守り伝えるべきものという認識をもつことが必要である。中間アウトカム「文化財保護意識醸成」「郷土愛の醸成」は地域の歴史・文化の継承に寄与するものであり、特に無形民俗文化財の分野においては、「郷土芸能の伝承・郷土芸能伝承館利用率向上」が有効で、中間アウトカムとして妥当である。

［環境変化の分析］ 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）

評価	一部対応済	

高齢化が進展する中で地域の歴史・文化を次世代に継承するには、これまでの参加者・利用者に戻ってもらうことと合わせて、新たな参加者を呼び込む必要がある。単独の文化財事業では訴求が難しい層には、他事業・他課と組み合わせることにより、文化財に触れる機会を提供することが有効である。郷土資料館の展示や旧粕谷家住宅の公開を、ウォーキング大会や文化財ウイークと組み合わせるなど一部事業で既に実施していることは、評価できる。

［今後の展開方針］ 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか

参加者層が変化する中での最終アウトカムの実現に向けては、事業への参加・郷土資料館への来館・郷土芸能の継承など、文化財に関わる活動をする区民を増やすこと、継続して関わってもらうことが必要である。まず重要なのは、文化財の調査・登録・管理など基礎の部分を着実に行うことである。その上で、新たな参加者の獲得、参加の継続を意識し、新たな資料や知見を生かした展示や、他事業・他課、複数の文化財や関連施設と連携した「線」「面」での事業を展開していく。

【外部評価】行政評価委員会による評価

【二次評価】区の最終評価

評価評語／改善の方向性	《概ね順調／工夫して継続》

区内にある様々な文化財や郷土資料館、郷土芸能伝承館などを活用しながら、地域の歴史文化への愛着を高める取組みについて、対象年齢を広げる施策展開などを検討し、充実させていくこと。史跡公園の整備にあたっては、貴重な近代化・産業遺産を保存、活用しながら産業分野とも連携し、板橋の新たなシンボルとして魅力ある公園づくりを進めること。

【施策を構成する事務事業一覧】

（単位：千円）

事務事業名	R　5年度決算 フルコスト	R　6年度予算 フルコスト
220200 -001 文化財保護管理経費	84,025	88,027
220200 -002 埋蔵文化財整理室等維持管理経費	22,096	22,358
220200 -003 郷土資料館管理運営経費	123,297	179,539
220200 -004 郷土芸能伝承館運営経費	53,135	32,022
220200 -005 （仮称）史跡公園整備経費（生涯学習課）	35,075	68,783

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）

事務事業名	220200 － 001	文化財保護管理経費			
担当所属	生涯学習課	担当者	－	連絡先	3579-2636
関連所属					

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進			
根拠法令要綱	文化財保護法 板橋区文化財保護条例、同条例施行規則				
計画事業番号		事業期間	平成 2年度　～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 ①区民　②文化財調査及び埋蔵文化財調査により発見された文化財 【手段】 ①郷土芸能大会・いたばしの郷土芸能・文化財講座・史跡散歩・ふるさと文化伝承事業・いたばし文化財ふれあいウィーク等を実施する（教育普及・文化財公開推進）。 ②板橋区文化財保護条例に基づき、公共的見地から保存に努めるべきものを文化財として登録（登録文化財）し、そのうち特に重要なものを別途指定（指定文化財）する（保護管理）。 【意図】 身近な視点で文化財に接し、実演・体験等を通じて文化財や郷土芸能への保護意識を醸成する。 【成果】 区内の文化財について理解することで、区民が率先して次世代のために資料やデータを保護できるようになる。	【アンケート・統計調査】 受講者・参加者アンケートで、各講座とも9割以上が高評価であり、事業の継続を希望されている。 【区民からの意見】 ①無形民俗文化財の公開事業や文化財講座は、参加者の8割以上が「今後も参加したい」と回答している。②区民から自宅に保管されていた古文書などの情報が寄せられ、貴重な文化財の発見につながる場合がある。 【他自治体との比較】 ①他自治体も無形民俗文化財を周知・公開する事業を実施している。②自治体により登録・指定文化財に対する奨励金・補助金の交付方法に若干の相違がある。③文化財ふれあいウィークは他自治体も文化の日を中心に実施し、特に古民家は9区が共同で周知・公開している。 【備考】 事務事業内訳：教育普及 保護管理 文化財公開推進事業

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
				実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①	活動指標	登録文化財（指定文化財）件数	件	191.0	190.0	192.0	192.0	100.0	195.0	198.0
			達成率(%)	96.5	96.0	97.0	97.0		98.5	令和 7年度
②	成果指標	郷土芸能大会・いたばしの郷土芸能・説経浄瑠璃鑑賞会参加者数	人	133.0	667.0	1,000.0	850.0	85.0	1,000.0	1,000.0
			達成率(%)	13.3	66.7	100.0	85.0		100.0	令和 7年度
③	成果指標	文化財講座・史跡散歩参加者数	人	180.0	212.0	340.0	278.0	81.8	340.0	340.0
			達成率(%)	52.9	62.4	100.0	81.8		100.0	令和 7年度
④	成果指標	いたばし文化財ふれあいウィーク参加者数	人	898.0	1,090.0	3,000.0	2,814.0	93.8	3,000.0	3,000.0
			達成率(%)	29.9	36.3	100.0	93.8		100.0	令和 7年度
⑤										
			達成率(%)							

特記事項

指標②は、新型コロナウイルス感染症対策としての定員制限等の終了に伴い回復している。指標④は、文化財公開場所で文化財講座を実施するなど開催形態を変化させていることから、文化財公開単独の参加人数ではなく、文化財ふれあいウィーク実施期間中の関連事業を含めた参加人数に改めた。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	152,587	86,486	88,662	84,025	88,027
事業費			千円	94,821	30,353	27,422	22,785	28,455
	特定財源	国庫支出金	千円	1,412	6,511	1,571	1,414	1,808
		都支出金	千円	31,675	3,255	785	707	904
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	2	53	89	66	89
		その他	千円	1,506	17	17	3	20
	一般財源		千円	60,226	20,517	24,960	20,595	25,634
人件費			千円	57,631	55,998	58,394	58,394	56,726
	正職員		千円	57,631	55,998	58,394	58,394	56,726
		人員	人	7.0	6.8	7.0	7.0	6.8
	再任用等		千円	0	0	0	0	0
		人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員		千円	0	0	0	0	0
経費			千円	135	135	2,846	2,846	2,846
	減価償却費		千円	135	135	2,846	2,846	2,846
	その他		千円	0	0	0	0	0
コスト指標	公開事業参加者１人あたり		千円	126.00	43.92	26.08	24.60	22.80

フルコストの増減理由

調査委託料の減（旧愛歯技工跡地遺構・建造物等調査終了による）

事務事業名	220200 － 001	文化財保護管理経費

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し	

新型コロナウイルス感染症の影響により中止が続いていた事業を、対策を講じつつ工夫して再開した。令和5年度は、対策緩和後に適した実施形態に移行する必要がある。旧粕谷家住宅については、公開を再開するとともに、「室礼教室」をはじめ区民が現地で参加することにより文化財としての価値や魅力を実感できる事業を実施している。今後も歴史的価値の継承や区の文化観光拠点としての魅力発信のため活用を推進すると同時に、郷土芸能伝承館や郷土資料館など赤塚地域全体を文化資源と捉え、連携を図りながら多様な事業を展開していく。

前回の二次評価結果への対応状況

対応状況	対応済	

感染症対策としての定員制限等の終了に伴い、一部事業では事前申込不要とするなど、参加しやすい方式とした。旧粕谷家住宅では、「室礼教室」の開催にあたり近隣の郷土芸能伝承館も会場として使用するなど、地域の関連施設との連携を進めている。

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]　達成度：B

1.活動指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上
2.成果指標の計画値を満たしたか	70%～90％がある
3.計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	

「いたばしの郷土芸能」「説経浄瑠璃鑑賞会」といった大型ホールでの民俗芸能公開事業の参加者数は前年度の1.8倍となっており、回復してきている。文化財講座4講座中3講座、史跡散歩4回中2回は参加率が90%以上であり、参加率の低い回は欠席者が多い傾向がある。

[中間アウトカムとの整合性]　寄与度：A

（事務事業は）中間アウトカムに寄与しているか	大きく寄与している

当事務事業には、行政による日常的な有形無形文化財の調査やデータ作成、保護管理業務が含まれており、地道ではあるが、これに基づいて初めて講座や公開など文化財の活用が可能となるものである。区民の文化財保護意識は、地域の歴史・文化を将来にわたって保全・継承・活用する上で不可欠であり、その醸成に大きく寄与したと評価できる。

[フルコストの把握・分析]　コスト評価：B

1.コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる
2.コスト最適化への取組状況	

文化財は調査以外に維持・継承にも経費を要するため、コストには、文化財所有者・保持者への補助金・奨励金や無形民俗文化財公開における出演謝礼など、文化財保護に不可欠な経費を含んでいる。
一方で、公開・普及事業の企画は職員が担い、文化財講座の一部は職員が講師を務めるほか、消耗機材等も節減している。
埋蔵文化財調査には国・都の補助金交付を受けている。

[改善の方向性]

1.方向性を選択してください	事業手法の見直し
2.具体的な手段を選択してください	コスト維持／活動・成果指標の向上
3.中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	

令和6年度は、日常の調査や保護管理の成果に基づき、最新の資料や知見、現地・現物に触れる体験、他課との連携による新たな切り口など内容をさらに充実させ、区民の興味関心に応え、文化財に対する愛着を深める事業を実施する。
また、限られた人員で多様な事業に対応するため、例えば文化財ふれあいウィークでは、同時期に区の文化財を紹介する事業が複数あるため、内容を相互に関連させたり広報を共同で行ったりすることで、期間中の関連事業全体で参加者を増やすなど、効果の高い実施形態とする。

【二次評価】 所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し

令和5年度は事業の参加者数が増加するとともに、地域の文化財と施設の連携など新たな取り組みが実施されたことは評価できる。
令和6年度は、他課や地域の関連施設とのさらなる連携、個々の事業を単独ではなく相互に関連させて実施することなどにより、今ある資源を生かし、より効果が高まるように事業を実施していく。

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）　モニタリング

事務事業名	220200 － 002	埋蔵文化財整理室等維持管理経費			
担当所属	生涯学習課	担当者	－	連絡先	3579-2636
関連所属					

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進			
根拠法令要綱	文化財保護法 板橋区文化財保護条例、同条例施行規則				
計画事業番号		事業期間	平成 2年度　～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 区民 【手段】 有形・無形文化財及び埋蔵文化財の調査に伴う実測図面や写真は蓮根文化財整理室、出土遺物類は文化財・埋蔵文化財整理室及び学校・廃校の余裕教室で収蔵管理を行う。文化財係で購入または寄贈を受けた図書・刊行物のうち歴史・民俗関係は赤塚七丁目埋蔵文化財整理室、考古学関係は蓮根文化財整理室で収蔵・保管する。 【意図】 文化財を管理・活用し、これを後世に伝承することで、区や地域の歴史等への理解を広めることにつなげる。 【成果】 埋蔵文化財の出土遺物や資料を区民に公開し活用することにより、区民一人ひとりの文化財保護に対する意識が向上する。	【現状の周辺環境】 令和４年度に蓮根文化財整理室を整備・移転し、整理室を蓮根・成増・赤塚七丁目の３か所に集約した。 【今後の予想される周辺環境】 文化財の活用が求められており、収蔵管理している出土遺物や資料を用いた公開・普及事業などを進める必要がある。 【他自治体との比較】 埋蔵文化財センター等を設置し、一括管理・公開している自治体がある。また、遠隔地にある自治体関連施設内に収蔵庫を建設し、資料を移している事例がある。

【指 標 の 推 移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	寄贈資料数	冊	478.0	375.0	—	346.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
② 活動指標	累計出土遺物量（コンテナ）	箱	7,121.0	7,151.0	—	7,161.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
③									
		達成率(%)							
④									
		達成率(%)							
⑤									
		達成率(%)							

特記事項

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	11,582	21,570	22,226	22,096	22,358
事業費	千円	2,609	9,301	5,744	5,614	5,876
特定財源 国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源 都支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源 特別区債	千円	0	0	0	0	0
特定財源 受益者負担	千円	0	0	0	0	0
特定財源 その他	千円	14	16	16	16	16
一般財源	千円	2,595	9,285	5,728	5,598	5,860
人件費	千円	6,586	9,882	6,674	6,674	6,674
正職員	千円	6,586	9,882	6,674	6,674	6,674
人員	人	0.8	1.2	0.8	0.8	0.8
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	2,387	2,387	9,808	9,808	9,808
減価償却費	千円	2,387	2,387	9,808	9,808	9,808
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標 累計出土遺物量１コンテナあた	千円	1.63	3.02	—	3.09	—

フルコストの増減理由

文化財整理室移転完了に伴う事業費の減

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）　モニタリング

事務事業名	220200 － 003	郷土資料館管理運営経費				
担当所属	生涯学習課		担当者	－	連絡先	5998-0081
関連所属						

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進			
根拠法令要綱	東京都板橋区立郷土資料館条例、同条例施行規則				
計画事業番号		事業期間	～	施設種別	教育関連施設

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 区民をはじめとして多くの方々 【手段】 郷土に関する考古、歴史、民俗等の資料を収集、保管、展示する。 【意図】 来館者自身が地域との関わりを理解するとともに地域を身近に感じ、また、文化伝統に接する。 【成果】 多くの方々に「郷土“板橋”」を意識してもらう。	【現状の周辺環境】 ・来館者数は、展示内容に多少左右されることがあるものの、例年3月の梅まつりの開催月が年間で1番来館者数が多く、まつりの開催状況に大きく影響を受ける。 【アンケート・統計調査】 ・利用者アンケートの結果では、各展示会の内容によって動きはあるが、年間トータルでは94%以上の方々から「大変よかった」若しくは「よかった」との評価を得ている。この数値は年々上昇している。 【区民からの意見】 ・赤塚公園、美術館に近隣する環境から、近くの高齢者施設利用者が散策がてら、少人数の団体で来館されることが多い。 ・古民家や昔の民具・歴史資料などの展示物に触れ、当時を懐かしむ声が聞かれる。また、敷地内に季節ごとに咲く植物を楽しむために来館されるリピーターの方も非常に多い。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
				実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①	活動指標	展示会実施回数	回	4.0	4.0	4.0	4.0	100.0	4.0	4.0
			達成率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	令和 7年度
②	活動指標	各種講座参加人数	人	2,753.0	2,075.0	2,500.0	1,754.0	70.2	2,500.0	2,500.0
			達成率(%)	110.1	83.0	100.0	70.2		100.0	令和 7年度
③	成果指標	入館者数	人	22,719.0	30,439.0	45,000.0	26,000.0	57.8	29,000.0	30,000.0
			達成率(%)	75.7	101.5	150.0	86.7		96.7	令和 7年度
④										
			達成率(%)							
⑤										
			達成率(%)							

特記事項

入館者数は企画・特別展の内容に影響を受ける。また減少した理由として、コロナ感染拡大による行動制限がなくなり、外出先の選択肢が増えたことや、高齢者の外出自粛の行動傾向が元に戻っていないことなどが考えられる。直近の実績と増加率から目標値を修正した。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	113,862	139,773	127,316	123,297	179,539
事業費			千円	46,484	70,999	56,763	52,744	108,986
	特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都支出金	千円	0	0	0	0	0
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	1,236	1,487	1,467	1,204	1,467
		その他	千円	166	169	169	170	170
	一般財源		千円	45,082	69,343	55,127	51,370	107,349
人件費			千円	57,631	57,645	58,394	58,394	58,394
	正職員		千円	57,631	57,645	58,394	58,394	58,394
		人員	人	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
	再任用等		千円	0	0	0	0	0
		人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員		千円	0	0	0	0	0
経費			千円	9,747	11,129	12,159	12,159	12,159
	減価償却費		千円	9,747	11,129	12,159	12,159	12,159
	その他		千円	0	0	0	0	0
コスト指標	来館者１人あたり		千円	5.01	4.59	2.83	4.74	6.19

フルコストの増減理由

改修工事費の減（古民家屋根改修終了による）

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）　モニタリング

事務事業名	220200 － 004	郷土芸能伝承館運営経費				
担当所属	生涯学習課		担当者	－	連絡先	3579-2636
関連所属						

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進			
根拠法令要綱	板橋区立郷土芸能伝承館条例、同条例施行規則				
計画事業番号		事業期間	平成 元年度 ～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 登録・指定文化財である民俗芸能または芸能を保存・伝承する団体等 【手段】 郷土芸能の伝承、後継者育成等のための練習の場所を提供する。 【意図】 区民の文化の向上を図る。 【成果】 後継者の育成が確実に行われることにより、郷土芸能が確実に伝承される。	【現状の周辺環境】 郷土芸能伝承館の利用者は太鼓や里神楽など大型の用具を使用する団体が多く、車による来館が多いが、駐車場がない。要望があった場合は、隣接の北野神社に断って神社駐車場に駐車している。今後も協力を得られるよう調整していく必要がある。 【アンケート・統計調査】 利用者アンケートには、職員の対応、設備、館内の快適性・衛生面等の項目があり、いずれも満足度は高い。 【区民からの意見】 改善要望の多かった空調を令和5年度に更新した。太鼓修繕の要望もあり、令和4年度から5か年計画で修繕を実施している。 【他自治体との比較】 郷土芸能伝承館は、区の文化財である民俗芸能や芸能をはじめ、文化・芸能の練習・調査・研究等を行う団体に利用を認めている教育委員会事務局所管の施設で、全国的に見ても特殊である。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
				実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①	成果指標	郷土芸能伝承館利用者満足度	%	88.0	86.0	90.9	90.6	99.7	91.0	91.0
			達成率(%)	96.7	94.5	99.9	99.6		100.0	令和 7年度
②	成果指標	郷土芸能伝承館施設利用率	%	32.1	40.0	58.0	42.4	73.1	60.0	60.0
			達成率(%)	53.5	66.7	96.7	70.7		100.0	令和 7年度
③										
			達成率(%)							
④										
			達成率(%)							
⑤										
			達成率(%)							

特記事項

利用者満足度の上昇は、空調更新も影響していると考えられる。
利用率は前年度と比較して2.5ポイント増となった。
なお、利用件数は756件で前年度比128件減となったが、空調更新に伴う貸出休止（6/5～7/8全館・8/22-31地下）が主な理由である。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	28,219	27,824	28,943	53,135	32,022
事業費			千円	19,882	19,486	20,573	44,765	21,984
特定財源	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0
	都支出金		千円	0	0	0	0	0
	特別区債		千円	0	0	0	0	0
	受益者負担		千円	0	0	0	0	0
	その他		千円	93	92	92	173	181
一般財源			千円	19,789	19,394	20,481	44,592	21,803
人件費			千円	2,470	2,471	2,503	2,503	4,171
	正職員		千円	2,470	2,471	2,503	2,503	4,171
		人員	人	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5
	再任用等		千円	0	0	0	0	0
		人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員		千円	0	0	0	0	0
経費			千円	5,867	5,867	5,867	5,867	5,867
	減価償却費		千円	5,867	5,867	5,867	5,867	5,867
	その他		千円	0	0	0	0	0
コスト指標	練習室・集会室利用１回あたり		千円	43.21	31.48	24.82	70.28	27.46

フルコストの増減理由

空調更新（緊急工事24,970,000円）、備品等集中更新による事業費の増

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）

事務事業名	220200 － 005	（仮称）史跡公園整備経費（生涯学習課）			
担当所属	生涯学習課	担当者	－	連絡先	3579-2664
関連所属	施設経営課　産業振興課　みどりと公園課　都市計画課				

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220200　地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進				
根拠法令要綱	文化財保護法　文化財保護法施行令　歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業費国庫補助要綱　東京都文化財保存事業費補助金交付要綱　板橋区文化財保護条例　板橋区文化財保護条例施行規則				
計画事業番号	015	事業期間	平成28年度　～	施設種別	教育関連施設

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 区民等 【手段】 平成29年度に国史跡に指定された「陸軍板橋火薬製造所跡」を、近代化・産業遺産を保存・活用した都内初となる史跡公園として整備する。 【意図】 身近な文化財を通じて板橋の産業発展や地域の歴史、平和に対する学びの機会を提供し、併せてふるさと板橋を大切にする心を醸成する。また、史跡公園を板橋の新たなシンボルとして魅力を発信していくことにより、「ものづくりの板橋」としてのブランド力のさらなる向上と定着を図る。 【成果】 史跡公園を取り囲む旧加賀藩下屋敷、中山道の宿場町として栄えた板橋宿を中心とする板橋地区、さらには区全域に好影響を及ぼし、将来的には区民にとって暮らし続けたくなるまち、来訪者にとっては、また訪れたくなるまちの実現に貢献する。	【開始時の周辺環境】 明治9年に発足した板橋火薬製造所の遺構・建造物が残ることから、近代化遺産として評価を受け、平成29年に国史跡として指定された。 【現状の周辺環境】 史跡を生かした都市公園として整備するため、与条件設定のための調査を行っているとともに、史跡整備の周知のため展示公開事業を行っている。 【今後の予想される周辺環境】 史跡公園の整備とあわせ、史跡公園を中心とする周辺地域のまちづくりに関する検討の進行が予想される。 【他自治体との比較】 全国的に近代化遺産の重要性に対する認識が進んでおり、23区内でも近代以降の遺構・建造物を保存・活用する動きが出ている。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度 実績	令和 4年度 実績	令和 5年度 計画	令和 5年度 実績	令和 5年度 達成率(%)	令和 6年度 計画	目標値 目標年度
①	活動指標	展示事業実施回数	回	1.0	0.0	3.0	5.0	166.7	5.0	—
			達成率(%)	—	—	—	—		—	—
②	活動指標	史跡公園整備委員会開催数	回	4.0	4.0	4.0	4.0	100.0	5.0	—
			達成率(%)	—	—	—	—		—	—
③	活動指標	資料調査	回	13.0	27.0	36.0	73.0	202.8	70.0	—
			達成率(%)	—	—	—	—		—	—
④	活動指標	文化庁・東京都・学識経験者との協議	回	34.0	71.0	80.0	77.0	96.3	80.0	—
			達成率(%)	—	—	—	—		—	—
⑤										
			達成率(%)							

特記事項

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	25,421	45,896	37,012	35,075	68,783
事業費			千円	8,955	29,426	20,328	18,391	52,099
	特定財源	国庫支出金	千円	2,220	9,973	8,360	3,741	20,314
		都支出金	千円	1,110	4,986	4,180	1,871	10,157
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源		千円	5,625	14,467	7,788	12,779	21,628
人件費			千円	16,466	16,470	16,684	16,684	16,684
	正職員		千円	16,466	16,470	16,684	16,684	16,684
		人員	人	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	再任用等		千円	0	0	0	0	0
		人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員		千円	0	0	0	0	0
経費			千円	0	0	0	0	0
	減価償却費		千円	0	0	0	0	0
	その他		千円	0	0	0	0	0
コスト指標	—		千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

史跡整備年度計画により整備事業を実施しており、各年度毎の事業内容に伴いフルコストが増減している。

事務事業名	220200 － 005	（仮称）史跡公園整備経費（生涯学習課）

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容		
評価評語／改善の方向性		

前回の二次評価結果への対応状況		
対応状況		

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]	達成度	B
1. 活動指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上	
2. 成果指標の計画値を満たしたか	－	
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください		

[中間アウトカムとの整合性]	寄与度	A
（事務事業は）中間アウトカムに寄与しているか	大きく寄与している	

史跡に関する調査を計画通り実施した結果、区民へ史跡に関する新しい情報を得て、区民向けに提供することができたことから、中間アウトカムである「文化財保護意識の醸成」に大きく寄与したと考えている。

[フルコストの把握・分析]	コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる	
2. コスト最適化への取組状況		

史跡整備はスクラップできる業務が少なく支出額の減少が困難である。現在は文化庁・東京都の補助金の交付を受け実施しているが今後は当該補助金の交付に加え、さらなる財源確保の手法について研究を進める。

[改善の方向性]	
1. 方向性を選択してください	目標値・指標の見直し
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持／活動・成果指標の向上
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	

事業実施にあたっては、歳入確保の手段検討を行うとともに、「文化財保護意識醸成」という中間アウトカムの達成はもとより、区の将来像の達成に貢献する事業を行っていく。

【二次評価】 所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	順調／工夫して継続

これまで様々な要因で業務の遅滞があったが、令和５年度はほぼ計画通りの業務を実施し、整備の進展があったことは評価できる。令和６年度以降も引き続きスケジュールを遵守し整備を進めるとともに、史跡公園が果たすべき役割を広い視野で捉え区の将来像の達成に貢献することを念頭に置いて業務遂行に当たっていく。

令和 6年度　施策評価表

施策名	220300	個性ある文化芸術の創造と活動の支援		
SDGｓ（関連性のあるGOAL）				
基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化			
所管部長	区民文化部長	所管課長	文化・国際交流課長	
関連所管				

【施 策 基 本 情 報 】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
【概要】 文化芸術創造活動に対する支援と文化芸術へいざなう機会の充実を図るとともに、「絵本のまち」など板橋区ならではの代表的な文化イメージを推進し、魅力ある地域文化・芸術をはぐくむ。 【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 文化・国際交流財団…地域文化の創造を支援する文化芸術振興の牽引役 文化団体連合会…24の文化団体による文化芸術活動と振興の担い手 【主な取り組み】 文化事業運営、（公財）板橋区文化・国際交流財団運営助成、文化会館・グリーンホール運営、美術館運営など	区内の文化や魅力を発掘するとともに、「絵本のまち」をはじめ歴史ある伝統文化を有する板橋ならではの文化の創造・発信がされている。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度 実績	令和 4年度 実績	令和 5年度 実績	令和 6年度 計画	目標値 目標年度
施策指標	①	文化会館の施設稼働率（大ホール・小ホール）	%	67.2	86.7	78.6	75.0	75.0
			達成率(%)	89.6	115.6	104.8	100.0	令和 7年度
	②	過去１年間に文化芸術にふれた区民の割合	%	74.6	—	79.5	—	100.0
			達成率(%)	74.6	—	79.5	—	令和 7年度
	③	過去１年間に文化財に触れた区民の割合	%	4.4	—	7.4	—	15.0
			達成率(%)	29.3	—	49.3	—	令和 7年度
	④	絵本文化の発信・醸成事業の参加者数	人	11,158.0	11,640.0	19,193.0	12,000.0	12,000.0
			達成率(%)	93.0	97.0	159.9	100.0	令和 7年度
	⑤	美術館入館者数	人	31,656.0	34,932.0	42,809.0	55,000.0	55,000.0
			達成率(%)	57.6	63.5	77.8	100.0	令和 7年度

特記事項

指標①は新型コロナウイルス拡大に伴う休館等により令和2年度の実績は大幅に減少したが、令和3年度以降は回復傾向にある。
指標②・③は隔年実施の区民意識意向調査結果。
指標④・⑤は令和2年度に新型コロナウイルスの影響で減少したが、令和3年度以降は回復傾向にある。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	883,716	1,224,696	942,009	940,984	1,210,871
事業費			千円	559,332	922,304	656,567	655,542	925,707
特定財源	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0
	都支出金		千円	0	0	0	0	0
	特別区債		千円	0	0	0	0	0
	受益者負担		千円	16,398	14,855	14,173	14,173	28,646
	その他		千円	8,990	10,426	12,799	12,799	10,905
	一般財源		千円	533,944	897,023	629,595	628,570	886,156
人件費合計			千円	156,713	134,394	119,404	119,404	119,126
経費			千円	167,671	167,998	166,038	166,038	166,038

フルコストの増減理由

文化会館・グリーンホールの改修案件の金額によりフルコストも増減する。

施策名	220300	個性ある文化芸術の創造と活動の支援

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容		
評価標語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し	
－		

前回の評価結果への対応状況		
対応状況	対応済	
－		

【一次評価】所管部長による評価

［成果の分析］ 1．施策目標に対する成果（実績値）の推移		
評価	概ね順調	
新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年度までは大幅に減少をしたが、令和3年度以降は回復傾向にある。		

［成果の分析］ 2．目標と成果にギャップがある場合の要因

［アウトカムの分析］ 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か		
評価	妥当	
文化芸術事業は、区民や文化団体の文化芸術活動の機会の充実を図るとともに、板橋の地域文化に触れる機会を提供できている。		

［環境変化の分析］ 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）		
評価	対応済	
新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置付けが5類に引き下がってから1年が経過したため、今後さらに文化芸術に対する区民への関心が高まると考えられる。 今後も、文化芸術事業においてPR方法などの工夫を凝らしながら区民の文化芸術事業の活動の場の提供に努める。		

［今後の展開方針］ 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか
令和5年に新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置付けが5類に引き下がってから、1年が経過し、美術館・文化会館・グリーンホールともにコロナ禍前の利用者数が戻ってきたように感じられる。今後も適宜事業の見直しなどを図り、さらなる利用者の増加を目指していく。

【二次評価】区の最終評価

評価評語／改善の方向性	《概ね順調／目標値・指標の見直し》
新型コロナウイルス感染症の流行により低下した区民の芸術・文化活動への参加意欲を取り戻し、文化芸術活動の充実、施設利用率の向上に取り組むこと。大規模改修工事により2019年にリニューアルした美術館の情報発信を通じて、区の文化芸術施策の効果的な周知に努めること。また、本施策の効果を適正に見定められる指標を探るとともに、事業展開の工夫、見直しを行うこと。	

【施策を構成する事務事業一覧】

（単位：千円）

事務事業名	R　5年度決算 フルコスト	R　6年度予算 フルコスト
220300 -001 文化事業運営	31,403	31,472
220300 -002 （公財）板橋区文化・国際交流財団運営助成（文化・法人会計）	69,488	101,305
220300 -003 文化会館・グリーンホール運営経費	622,242	836,204
220300 -004 美術館管理運営経費	218,876	241,890

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）

事務事業名	220300 － 001	文化事業運営				
担当所属	文化・国際交流課		担当者	－	連絡先	3579-2018
関連所属						

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220300	個性ある文化芸術の創造と活動の支援			
根拠法令要綱	板橋区民文化祭実施要綱				
計画事業番号		事業期間	～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 文化芸術活動の発表の機会及び鑑賞の機会を求めている区民 【手段】 10月・11月の２か月間にわたり、文化芸術活動の発表と普及の場として、区民文化祭を文化団体連合会及び文化・国際交流財団と共催により実施する。本庁舎では質の高い文化芸術作品を展示する庁舎ギャラリー等を実施する。 【意図】 板橋の地域文化を象徴する文化団体連合会と連携し、文化芸術活動の発表の機会及び鑑賞の機会を提供する。 【成果】 板橋ならではの地域文化を推進するとともに、区民の生活に文化芸術の楽しみを浸透させ、まちに活気やにぎわいを創出する。	【現状の周辺環境】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、「新しい生活様式」に対応した文化芸術活動が広がりをみせている。 東京2020大会を契機として、国及び都は文化プログラムを推進している。 国では、平成29年「文化芸術基本法」、平成30年「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が施行された。 【区民からの意見】 区民文化祭に対する区の支援の充実を求める要望あり

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度 実績	令和 4年度 実績	令和 5年度 計画	令和 5年度 実績	令和 5年度 達成率(%)	令和 6年度 計画	目標値 目標年度
①	成果指標	区民文化祭観覧者数	人	6,998.0	9,416.0	15,000.0	9,577.0	63.8	15,000.0	15,000.0
			達成率(%)	46.7	62.8	100.0	63.8		100.0	令和 7年度
②	成果指標	区民文化祭出演・出品者数	人	5,843.0	6,314.0	8,000.0	6,556.0	82.0	8,000.0	8,000.0
			達成率(%)	73.0	78.9	100.0	82.0		100.0	令和 7年度
③	成果指標	過去１年間に文化芸術観賞した区民の割合	%	—	—	—	—	—	—	100.0
			達成率(%)	—	—	—	—		—	令和 7年度
④	成果指標	過去１年間に文化芸術活動した区民の割合	%	—	—	—	—	—	—	40.0
			達成率(%)	—	—	—	—		—	令和 7年度
⑤										
			達成率(%)							

特記事項

指標①・②は令和3年度は一部事業が中止・縮小・無観客開催。
指標①の令和4年度実績値は区民まつり参加者を除く値のため、それに伴い計画値を変更。
指標③・④は計画策定時（5年ごと）に実施する文化芸術に関する意識調査の結果。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	30,534	33,535	31,403	31,403	31,472
事業費			千円	9,665	9,491	10,434	10,434	10,503
特定財源	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0
	都支出金		千円	0	0	0	0	0
	特別区債		千円	0	0	0	0	0
	受益者負担		千円	0	0	0	0	0
	その他		千円	0	0	0	0	0
一般財源			千円	9,665	9,491	10,434	10,434	10,503
人件費			千円	20,869	24,044	20,969	20,969	20,969
正職員			千円	16,466	19,764	16,684	16,684	16,684
	人員		人	2.0	2.4	2.0	2.0	2.0
再任用等			千円	4,403	4,280	4,285	4,285	4,285
	人員		人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
その他職員			千円	0	0	0	0	0
経費			千円	0	0	0	0	0
減価償却費			千円	0	0	0	0	0
その他			千円	0	0	0	0	0
コスト指標	観覧者１人あたり		千円	2.38	2.13	1.37	3.28	1.37

フルコストの増減理由

令和3年度決算の前年比事業費増加は、区民文化祭を実施したため。（一部縮小・中止）
令和6年度コスト指標は、まだ値が確定していないため、未記入。（令和6年度末に確定予定）

事務事業名	220300 － 001	文化事業運営

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し	

区民文化祭においては、従来のように実施できるようになったことを踏まえ、コロナ禍前の観覧者数に戻すべく、事業の周知方法を再検討し、より多くの区民が文化芸術に親しめる機会を提供できるようPRしていく必要がある。

前回の二次評価結果への対応状況

対応状況	対応済	

区民文化祭においては、無事に全事業を実施した。

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]　達成度：C

1.活動指標の計画値を満たしたか	ー
2.成果指標の計画値を満たしたか	70%未満がある
3.計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	

コロナ後初めての通常開催となったが、PR方法の改善不足によりコロナ禍を経て文化事業から遠のいてしまった区民を完全に呼び戻すことが出来ず、観覧者数が思うように伸びなかった。

[中間アウトカムとの整合性]　寄与度：A

（事務事業は）中間アウトカムに寄与しているか	大きく寄与している

区民文化祭をはじめとする文化芸術事業は、区民や文化団体の文化芸術活動の機会の充実を図るとともに、板橋の地域文化に触れる機会を提供することにより、地域文化の活性化を通じて、中間アウトカム「文化芸術の創造・発信」に大きく寄与している。

[フルコストの把握・分析]　コスト評価：A

1.コストは最適であるか	最適である
2.コスト最適化への取組状況	

区民文化祭は区、文化・国際交流財団、文化団体連合会が共催で実施しており、それぞれの強みに応じた事務負担や実務負担、経費負担により実施している。

[改善の方向性]

1.方向性を選択してください	事業手法の見直し
2.具体的な手段を選択してください	コスト維持／活動・成果指標の向上
3.中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	

板橋の文化の魅力をより多くの人に知ってもらうため、事業の発信方法を検討していく。

【二次評価】 所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し

ポストコロナ時代における区民の文化芸術活動を充実させていくとともに、観覧者増に向けて現行の開催方法の見直しを行っていく。

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）　モニタリング

事務事業名	220300 － 002	（公財）板橋区文化・国際交流財団運営助成（文化・法人会計）			
担当所属	文化・国際交流課	担当者	－	連絡先	3579-2018
関連所属					

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220300	個性ある文化芸術の創造と活動の支援			
根拠法令要綱	公益財団法人板橋区文化・国際交流財団補助金交付要綱				
計画事業番号		事業期間	平成24年度　～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要

【対象】
板橋区民を対象に文化事業及び国際交流事業を企画・実施する（公財）板橋区文化・国際交流財団
【手段】
運営費の一部を助成する。
【意図】
いたばし文化芸術・多文化共生ビジョン2025において、独自の文化芸術施策を推進するとともに、クリエイターやアーティストなどとのつながりをつくることで文化芸術の裾野を広げる役割を担う文化・国際交流財団による文化芸術事業の実施及び健全運営を支援する。
【成果】
板橋区における地域文化の創造支援と国際相互理解の促進が図られ、文化の香り高いまちづくりに資する。

環境変化・備考

【現状の周辺環境】
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、「新しい生活様式」に対応した文化芸術活動が広がりをみせている。
東京2020大会を契機として、国は文化プログラムを推進している。
文化会館等の管理運営について、地域文化の牽引役である財団が文化会館等の指定管理者になるための組織改革を支援し、文化事業と施設管理運営が一体的に実施することで、地域文化のさらなる発展と創造支援の充実をめざす。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
				実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①	成果指標	区民参加型事業参加者数	人	1,498.0	799.0	1,760.0	1,824.0	103.6	1,945.0	0.0
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
②	成果指標	アウトリーチ事業来場者数	人	2,683.0	4,087.0	0.0	5,525.0	0.0	0.0	0.0
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
③	成果指標	財団ＹｏｕＴｕｂｅチャンネル動画再生回数	回	56,174.0	51,932.0	0.0	56,887.0	0.0	0.0	0.0
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
④										
			達成率(%)							
⑤										
			達成率(%)							

特記事項

指標①は令和4年度、文化会館大ホールの天井工事に伴い、一部事業を実施しなかったため減少。
指標②・③は目標・計画を算出することが不可能なため未記入。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	134,041	157,204	69,488	68,463	101,305
事業費			千円	78,057	125,087	47,799	46,774	79,894
	特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都支出金	千円	0	0	0	0	0
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源		千円	78,057	125,087	47,799	46,774	79,894
人件費			千円	55,984	32,117	21,689	21,689	21,411
	正職員		千円	55,984	32,117	21,689	21,689	21,411
		人員	人	6.8	3.9	2.6	2.6	2.6
	再任用等		千円	0	0	0	0	0
		人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員		千円	0	0	0	0	0
経費			千円	0	0	0	0	0
	減価償却費		千円	0	0	0	0	0
	その他		千円	0	0	0	0	0
コスト指標	指標参加者１人あたり		千円	32.06	38.46	—	38.90	—

フルコストの増減理由

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）

事務事業名	220300 － 003	文化会館・グリーンホール運営経費			
担当所属	文化・国際交流課	担当者	－	連絡先	3579-2018
関連所属					

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220300	個性ある文化芸術の創造と活動の支援			
根拠法令要綱	東京都板橋区立文化会館条例・施行規則 東京都板橋区立グリーンホール条例・施行規則				
計画事業番号		事業期間	昭和57年度　～	施設種別	区民関連施設

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 文化・芸術活動及び鑑賞の場を求めている区民 【手段】 安心して利用しやすい快適な施設環境を整え、ホスピタリティサービスの向上に努めるとともに、文化芸術にふれる場を提供する。 【意図】 区民の文化芸術活動が盛んになるとともに、優れた文化芸術を身近に感じることができる。 【成果】 文化芸術活動の拠点として、区内外からの利用が増え、文化のかがやくまち板橋の実現に資する。	【現状の周辺環境】 都内をはじめとする首都圏では、施設の老朽化によるホール・劇場等の閉鎖や改修が相次いでおり、大型施設の改修も重なり、施設不足が深刻化している。これらの状況が影響し、文化芸術活動の拠点として区民ニーズが上昇している。 【アンケート・統計調査】 指定管理者が実施した「令和5年度利用者アンケート」によると、文化会館では8割を超える利用者が施設・サービスに『非常に満足』『まあまあ満足』と回答指定管理者による管理運営及び主催事業では比較的高い満足度が得られている。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
				実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①	成果指標	文化会館大ホール利用率（単年度）	%	69.1	88.3	71.0	82.5	116.2	71.0	75.0
			達成率(%)	92.1	117.7	94.7	110.0		94.7	令和 7年度
②	成果指標	文化会館小ホール利用率（単年度）	%	65.3	85.1	69.0	74.6	108.1	69.0	69.0
			達成率(%)	94.6	123.3	100.0	108.1		100.0	令和 7年度
③	成果指標	グリーンホール１階ホール利用率（単年度）	%	72.8	89.1	86.5	86.3	99.8	86.5	86.5
			達成率(%)	84.2	103.0	100.0	99.8		100.0	令和 7年度
④	成果指標	グリーンホール２階ホール利用率（単年度）	%	64.6	82.0	77.5	81.3	104.9	77.5	77.5
			達成率(%)	83.4	105.8	100.0	104.9		100.0	令和 7年度
⑤	成果指標	文化会館・グリーンホール施設利用者満足度	%	0.0	94.1	100.0	86.4	86.4	100.0	100.0
			達成率(%)	0.0	94.1	100.0	86.4		100.0	令和 7年度

特記事項

指標①-⑤は新型コロナウイルス感染症が5類に移行されてからも、手指消毒液等の感染症対策物品の配置や、適切な館内消毒等の実施によるイメージ向上の結果、上昇傾向にある。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	520,491	816,951	622,242	622,242	836,204
事業費			千円	381,858	679,634	489,228	489,228	703,190
	特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都支出金	千円	0	0	0	0	0
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	566	565	555	555	594
		その他	千円	8,949	9,383	8,271	8,271	7,372
	一般財源		千円	372,343	669,686	480,402	480,402	695,224
人件費			千円	13,996	12,353	10,010	10,010	10,010
	正職員		千円	13,996	12,353	10,010	10,010	10,010
		人員	人	1.7	1.5	1.2	1.2	1.2
	再任用等		千円	0	0	0	0	0
		人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員		千円	0	0	0	0	0
経費			千円	124,637	124,964	123,004	123,004	123,004
	減価償却費		千円	124,637	124,964	123,004	123,004	123,004
	その他		千円	0	0	0	0	0
コスト指標	利用１件あたり		千円	40.99	67.81	—	36.15	—

フルコストの増減理由

年度によって施設改修経費が異なり増減するものの、ランニング経費は指定管理者のノウハウと努力により抑えられ、区直営時と比較して経費効果が継続して出ている。（コスト指標の分母：全諸室利用件数合計。R3…12,698件、R4…12,048件、R5…17,212件。）

事務事業名	220300 － 003	文化会館・グリーンホール運営経費

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し	

令和5年5月8日に新型コロナウイルスの感染症法の位置付けが5類に引き下がったことにより、区民の文化活動への参加意欲が高まり、施設利用率の更なる向上が見込まれる。今後も感染症拡大防止策の徹底等の取組は行いつつ、コロナ禍以前の生活に戻るよう、柔軟な施設運営を実施していく。

前回の二次評価結果への対応状況

対応状況	対応済	

新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置付けが5類に引き下がってからも、消毒液の配置など感染対策を施した。

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]　達成度：B

1.活動指標の計画値を満たしたか	ー
2.成果指標の計画値を満たしたか	70%～90%がある
3.計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	

指定管理者が実施した「令和5年度利用者アンケート」に寄せられた意見によると、施設の老朽化による空調設備の不具合などが挙げられているため、昨年度と比較して施設利用者満足度が減少したと考えられる。

[中間アウトカムとの整合性]　寄与度：A

（事務事業は）中間アウトカムに寄与しているか	大きく寄与している

令和5年5月8日に新型コロナウイルスの感染症法の位置付けが5類に引き下がったことにより、ポストコロナの事業・施設運営のあり方を追求し、各種事業等を実施することで、中間アウトカム「文化芸術活動拠点の充実」に寄与している。

[フルコストの把握・分析]　コスト評価：B

1.コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる
2.コスト最適化への取組状況	

文化会館・グリーンホールでは平成23年度より指定管理者制度を導入している。管理運営及び文化事業の提供については、令和5年度より指定管理者になった（公財）板橋区文化・国際交流財団のノウハウを最大限に活かし、効率的かつ実効性の高い事業展開が行われている。指定管理者制度の導入により、利用者サービスの向上（開館時間の延長等）や利用率・満足度が高まっている。

[改善の方向性]

1.方向性を選択してください	事業手法の見直し
2.具体的な手段を選択してください	コスト維持／活動・成果指標の向上
3.中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	

引き続き、安心・安全な施設運営を実施する。また、これらの取り組みを積極的に発信することで、新たな顧客層の獲得に挑戦していく。これと並行し、ハード面の改善も積極的に実施し、ソフト面殿両輪で事業運営を行い、利用したくなる施設を目指す。

【二次評価】 所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し

令和5年5月8日に新型コロナウイルスの感染症法の位置付けが5類に引き下がってから1年が経過した。ポストコロナになって時間も経過したことから、さらに区民の文化活動への参加意欲が高まり、施設利用率の更なる向上が見込まれる。今後もコロナ禍後の文化芸術活動が充実するよう、柔軟な施設運営を実施していく。

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）　モニタリング

事務事業名	220300 － 004	美術館管理運営経費			
担当所属	文化・国際交流課	担当者	－	連絡先	3979-3251
関連所属					

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220300	個性ある文化芸術の創造と活動の支援			
根拠法令要綱	板橋区立美術館条例、板橋区立美術館管理規則、板橋区文化芸術振興基本計画2020、文化芸術振興基本法、東京都文化振興条例				
計画事業番号		事業期間	昭和54年度　～	施設種別	教育関連施設

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 区民及び区外から美術鑑賞を求めて来館される方々 【手段】 絵本、江戸狩野派、池袋モンパルナスの３つを柱に、板橋オンリーのユニークな展覧会を開催し、個性ある芸術を創造・発信する。また、アトリエ教室・講座等の実施による教育普及事業、板橋ゆかりの作家と近現代美術、及び近世美術（江戸期の江戸地方）の古美術にかかる資料収集・調査研究を行う。運営方法は、平成26年12月に決定した「板橋区立美術館のあり方について」の中で、直営方式が最適であると結論付けている。 【意図】 地域に親しまれる魅力ある美術館として、区の文化芸術を振興する。 【成果】 来館者の増加を図り、板橋区立美術館ならではの芸術にふれる機会を創出する。	【現状の周辺環境】 板橋ゆかりの作家と近現代美術、近世美術(江戸期の江戸地方)の古美術を資料収集。特に江戸狩野派の体系的な収集は全国に知られている。展覧会は、古美術、近現代美術及び絵本関連作品を3本柱として開催。各分野で注目を集め高い評価を得ている。 【今後の予想される周辺環境】 大規模改修工事によりリニューアルしたため、情報発信の充実や、オリンピックに因んだ国際交流の機運の高まりをとらえた企画により、従来よりも多くの観覧者、利用者を呼び込み、地域に親しまれ、また、国内外に板橋の文化発信力を顕示できる場としての運用が求められる。 【他自治体との比較】 区の直営は板橋区のみ（令和5年度）。練馬、世田谷、渋谷、目黒、墨田の各区は関連財団が指定管理者または事業委託先。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
				実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①	活動指標	展覧会回数	回	9.0	9.0	8.0	9.0	112.5	8.0	8.0
			達成率(%)	112.5	112.5	100.0	112.5		100.0	令和 7年度
②	成果指標	展覧会入館者数	人	31,898.0	34,932.0	55,000.0	42,809.0	77.8	55,000.0	55,000.0
			達成率(%)	58.0	63.5	100.0	77.8		100.0	令和 7年度
③	成果指標	図録等販売実績	千円	6,279.0	6,377.0	5,708.0	7,210.0	126.3	5,708.0	6,540.0
			達成率(%)	96.0	97.5	87.3	110.2		87.3	令和 7年度
④	成果指標	美術教室参加延べ人数	人	726.0	1,424.0	1,500.0	1,937.0	129.1	1,500.0	1,500.0
			達成率(%)	48.4	94.9	100.0	129.1		100.0	令和 7年度
⑤										
			達成率(%)							

特記事項

令和5年度は、新型コロナウィルス感染拡大防止により一部の講演会の参加人数を縮小した。
令和4年度からひよこ・たぬきアトリエからこどもアトリエへ名称変更するとともに参加組数から実参加者数にカウント変更した。R5は参加組数121組339人の参加実績。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	198,650	217,006	218,876	218,876	241,890
事業費			千円	89,752	108,092	109,106	109,106	132,120
	特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都支出金	千円	0	0	0	0	0
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	15,832	14,290	13,618	13,618	28,052
		その他	千円	41	1,043	4,528	4,528	3,533
	一般財源		千円	73,879	92,759	90,960	90,960	100,535
人件費			千円	65,864	65,880	66,736	66,736	66,736
	正職員		千円	65,864	65,880	66,736	66,736	66,736
		人員	人	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
	再任用等		千円	0	0	0	0	0
		人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員		千円	0	0	0	0	0
経費			千円	43,034	43,034	43,034	43,034	43,034
	減価償却費		千円	43,034	43,034	43,034	43,034	43,034
	その他		千円	0	0	0	0	0
コスト指標	来館者１人あたり		千円	3.61	3.95	—	3.98	—

フルコストの増減理由

令和 6年度　施策評価表

施策名	220400	国際性豊かな地域社会づくり		
SDGｓ（関連性のあるGOAL）				
基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化			
所管部長	区民文化部長	所管課長	文化・国際交流課長	
関連所管	総務課			

【施 策 基 本 情 報 】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
【概要】 姉妹・友好都市との交流や多言語・多文化対応など、外国人の生活・コミュニケーション支援の充実を図り、国際性豊かで多文化が共生するまちづくりを推進する。 【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 多文化について相互に理解しあい、尊重する。 多文化・多言語を理解するため、情報を発信し、環境を整える。 【主な取り組み】 国際交流事業、姉妹・友好都市提携周年記念事業など	地域で暮らす外国人に必要な情報を分かりやすく伝えたり、日本語を学習できる環境が整備されている。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度 実績	令和 4年度 実績	令和 5年度 実績	令和 6年度 計画	目標値 目標年度
施策指標	①	過去１年間で外国人とコミュニケーションがあった区民の割合	%	43.9	0.0	51.5	0.0	45.0
			達成率(%)	97.6	0.0	114.4	0.0	令和 7年度
	②	多文化共生推進イベント参加者数	人	269.0	365.0	506.0	660.0	660.0
			達成率(%)	40.8	55.3	76.7	100.0	令和 7年度
	③	外国人の日本語学習事業の参加者数	人	179.0	268.0	306.0	300.0	300.0
			達成率(%)	59.7	89.3	102.0	100.0	令和 7年度
	④	多言語化・コミュニケーション支援事業の実施件数	件	583.0	968.0	735.0	600.0	600.0
			達成率(%)	97.2	161.3	122.5	100.0	令和 7年度
	⑤							
			達成率(%)					

特記事項

①は隔年実施の区民意識意向調査結果。②は文化・国際交流財団による多文化紹介シリーズ、国際交流サロン、日本語スピーチ大会の3事業の参加者数であり、目標値は目標年度までの平均値である660人とする。③は文化・国際交流財団日本語教室と外国人児童・生徒のための日本語初期学習集中講座の受講者数合計。④は通訳と翻訳の事業実施件数

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	60,246	76,059	66,764	67,822	60,785
事業費			千円	28,961	39,824	35,899	36,957	43,267
	特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都支出金	千円	0	0	0	0	0
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源		千円	28,961	39,824	35,899	36,957	43,267
人件費合計			千円	31,285	36,235	30,865	30,865	17,518
経費			千円	0	0	0	0	0

フルコストの増減理由

令和7年度に5年毎の計画策定により、令和6年度はそれに先駆けてアンケート調査を行うためその委託料が増となっている。

施策名	220400	国際性豊かな地域社会づくり

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容		
評価標語／改善の方向性	－	
－		

前回の評価結果への対応状況		
対応状況	－	
－		

【一次評価】所管部長による評価

［成果の分析］ １．施策目標に対する成果（実績値）の推移

評価	概ね順調	

令和3年度は、外国籍住民数も減少していたが、令和4年度から再び増加に転じているため、日本語学習機会も増加傾向にある。

［成果の分析］ ２．目標と成果にギャップがある場合の要因

［アウトカムの分析］ 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か

評価	妥当	

国際交流事業は、外国籍住民の日本語学習機会の充実を図るとともに、板橋の地域区民に対しての多文化共生の意識も醸成できている。

［環境変化の分析］ 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）

評価	対応済	

令和4年から外国籍住民数が再び増加したことにより、日本語学習希望者も増加している。今後も、区と財団を通して外国籍住民の日本語学習・多文化共生推進イベントの機会を醸成していく。

［今後の展開方針］ 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか

令和3年度に減少に転じていた区内外国人数も令和4年度より再び増加傾向にあり、令和6年5月1日現在約６％まで上昇している。日本語学習事業の参加者も増加しているため、今後も増加することが見込まれる。
周知方法を検討し、地域で暮らす外国人にとってよりよい日本語学習の提供を出来るよう取り組む。

【二次評価】区の最終評価

評価評語／改善の方向性	《概ね順調／目標値・指標の見直し》
区内外国人数が増加傾向にあるなか、多様な文化や価値観を尊重し、外国人住民との交流や理解を深めることは、今後も重要な視点である。特に、多文化共生推進イベントの開催や外国人の日本語学習事業の参加者数など多角的な施策の取組の実施により実績が増加している点は評価できる。言語や文化の違いからくる誤解や偏見等がないよう活動を進められているかなど、その成果となる区民の国際意識向上や生活の質の向上を図る指標の設定についても、他自治体の好事例等を参考にしながら検討していくこと。	

【施策を構成する事務事業一覧】

（単位：千円）

事務事業名	R　5年度決算 フルコスト	R　6年度予算 フルコスト
220400 -001 外国人学校在校生保護者助成経費	20,252	21,076
220400 -002 国際交流事業運営	12,574	9,787
220400 -003 （公財）板橋区文化・国際交流財団運営助成（国際交流）	18,165	0
220400 -004 事務費	16,831	29,922

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）　モニタリング

事務事業名	220400 － 001	外国人学校在校生保護者助成経費			
担当所属	総務課	担当者	－	連絡先	3579-2052
関連所属					

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220400	国際性豊かな地域社会づくり			
根拠法令要綱	板橋区外国人学校児童・生徒保護者負担軽減補助金交付要綱				
計画事業番号		事業期間	昭和57年度　～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要

【対象】
区内在住の外国人学校在学の児童・生徒（義務教育相当年齢）の保護者
保護者とは、板橋区に住民登録をした日本国籍以外のもので、かつ授業料納付の義務を負っている者
【手段】
児童・生徒一人当たり支給月額8,500円を補助金として交付
【意図】
保護者の経済的な負担の軽減
【成果】
支給人数

環境変化・備考

【開始時の周辺環境】
昭和56年に「区民であり納税義務を負っているにも係わらず、在日朝鮮人に対して反対給付がなく区民平等の原則に反する」との趣旨の「特別援助金交付についての請願」が採択されたことに鑑み、この制度を創設した。
【今後の予想される周辺環境】
平成26年から区内在住外国人数は増加傾向にある。
【他自治体との比較】
２３区中全ての区が同様の事業を実施している。

【指 標 の 推 移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	支給人数	人	180.0	180.0	180.0	201.0	111.7	200.0	200.0
		達成率(%)	90.0	90.0	90.0	100.5		100.0	—
②									
		達成率(%)							
③									
		達成率(%)							
④									
		達成率(%)							
⑤									
		達成率(%)							

特記事項

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	17,269	18,317	19,194	20,252	21,076
事業費	千円	16,446	17,493	18,360	19,418	20,242
特定財源 国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源 都支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源 特別区債	千円	0	0	0	0	0
特定財源 受益者負担	千円	0	0	0	0	0
特定財源 その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	16,446	17,493	18,360	19,418	20,242
人件費	千円	823	824	834	834	834
正職員	千円	823	824	834	834	834
人員	人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標 一人あたり	千円	95.94	101.76	106.63	112.51	117.09

フルコストの増減理由

支給人数の増

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）　モニタリング

事務事業名	220400 － 002	国際交流事業運営			
担当所属	文化・国際交流課	担当者	－	連絡先	3579-2018
関連所属					

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち	
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化	
施策	220400	国際性豊かな地域社会づくり
根拠法令要綱		
計画事業番号		事業期間 ～ 施設種別

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 外国人区民 【手段】 翻訳や通訳等の事業委託を行う。外国人向けの生活情報をまとめ、転入時に情報提供する。 【意図】 日本語がわからない区民に情報・行政サービスを提供する。 【成果】 外国人区民にも、日本人同様の情報や行政サービスを提供することに加え、外国人にとって有益な情報を確実に伝えることができる。	【現状の周辺環境】 区内の外国人住民数は平成26年から増加傾向にあった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で入国者数が大幅に減少したことなどから、令和３年は減少に転じたが、令和４年からは増加している。中国人、韓国人が大多数を占めているが、から近年、ベトナム人、ネパール人が増えている。 【区民からの意見】 区民からは、近隣に引っ越してくる外国人がどのように生活ルールを知るのかわからないと不安であるといった声や、転居してくるときにゴミの出し方など生活ルールを伝えてほしいといった意見がある。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度 実績	令和 4年度 実績	令和 5年度 計画	令和 5年度 実績	令和 5年度 達成率(%)	令和 6年度 計画	目標値 目標年度
①	活動指標	通訳・翻訳件数	件	583.0	968.0	200.0	735.0	367.5	200.0	200.0
			達成率(%)	291.5	484.0	100.0	367.5		100.0	令和 7年度
②	活動指標	外国人向け生活情報の発信チラシ作成数	部	0.0	10,000.0	10,000.0	5,000.0	50.0	5,000.0	10,000.0
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	50.0		50.0	令和 7年度
③										
			達成率(%)							
④										
			達成率(%)							
⑤										
			達成率(%)							

特記事項

①については、令和２年度より電話通訳の導入・少数言語への対応により大幅に増加した。
②については、令和４年度からこれまでの多言語情報を統合して新たに作成。R5についてはR4に作成した余ったチラシがあるため作成部数を減少。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	5,586	7,202	12,574	12,574	9,787
事業費	千円	2,293	2,261	5,900	5,900	3,113
特定財源 国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源 都支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源 特別区債	千円	0	0	0	0	0
特定財源 受益者負担	千円	0	0	0	0	0
特定財源 その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	2,293	2,261	5,900	5,900	3,113
人件費	千円	3,293	4,941	6,674	6,674	6,674
正職員	千円	3,293	4,941	6,674	6,674	6,674
人員	人	0.4	0.6	0.8	0.8	0.8
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標 —	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

事業費は通訳・翻訳委託、多言語リーフレットの作成、「Welcome to いたばし」の作成経費であり、概ね横ばいで推移している。令和４年度からは多言語リーフレットの作成、「Welcome to いたばし」を統合し、「外国人向け生活情報の発信」とするため事業費が減となる。令和５年度は通訳・翻訳事業にウクライナ語・ロシア語を追加したこと、サマカン経費により事業費が増となる。平成30年度決算までは人件費に文化・国際交流財団国際交流係への派遣職員３人分を含んでいたが、令和元年度決算からは区職員のみとなっている。

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）

事務事業名	220400 － 003	（公財）板橋区文化・国際交流財団運営助成（国際交流）			
担当所属	文化・国際交流課	担当者	－	連絡先	3579-2018
関連所属					

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220400	国際性豊かな地域社会づくり			
根拠法令要綱	公益財団法人板橋区文化・国際交流財団補助金交付要綱				
計画事業番号		事業期間	平成24年度　～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要

【対象】
板橋区民を対象に文化事業及び国際交流事業を企画・実施する（公財）板橋区文化・国際交流財団
【手段】
運営費の一部を助成する。
【意図】
いたばし文化芸術・多文化ビジョンにおいて、区民レベルでの国際交流や多文化共生の推進を期待されている文化・国際交流財団による国際交流事業の着実な実施及び健全運営を支援する。
【成果】
板橋区における地域文化の創造支援と国際相互理解の促進が図られ、文化の香り高いまちづくりに資するものである。

環境変化・備考

【現状の周辺環境】
区内の外国人住民数は平成26年から増加傾向にあった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で入国者数が大幅に減少したことなどから、令和３年は減少に転じたが、令和4年からは増加している。中国人、韓国人が大多数を占めているが、近年、ベトナム人、ネパール人が増えている。
【他自治体との比較】
板橋区の財団は、経常収益に占める区からの補助金等の割合が６割～７割程度であり、足立区を除く15財団中５番目に低い水準となっている。また、収益率は約37%と平均（約29%）よりも高くなっている。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
				実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①	活動指標	国際理解教育（小中学校への外国人派遣事業）派遣数	件	9.0	18.0	20.0	21.0	105.0	20.0	20.0
			達成率(%)	45.0	90.0	100.0	105.0		100.0	令和 7年度
②	成果指標	日本語教室参加者数	人	161.0	227.0	120.0	289.0	240.8	260.0	120.0
			達成率(%)	134.2	189.2	100.0	240.8		216.7	令和 7年度
③	成果指標	日本語スピーチ大会来場者数	人	183.0	211.0	250.0	232.0	92.8	200.0	250.0
			達成率(%)	73.2	84.4	100.0	92.8		80.0	令和 7年度
④	成果指標	過去１年間で外国人とコミュニケーションのあった区民の割合	%	43.9	0.0	45.0	51.5	114.4	45.0	45.0
			達成率(%)	97.6	0.0	100.0	114.4		100.0	令和 7年度
⑤										
			達成率(%)							

特記事項

指標③は新型コロナウイルス感染症拡大により、令和３年度は有観客で開催しオンラインでもライブ配信した。令和4年度からは有観客で開催した。
指標④は隔年実施の区民意識意向調査結果。
指標③については、令和３年度は来場者とオンライン視聴者数の合計とする。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	27,322	37,010	18,165	18,165	0
事業費			千円	9,209	16,422	4,818	4,818	0
特定財源	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0
	都支出金		千円	0	0	0	0	0
	特別区債		千円	0	0	0	0	0
	受益者負担		千円	0	0	0	0	0
	その他		千円	0	0	0	0	0
一般財源			千円	9,209	16,422	4,818	4,818	0
人件費			千円	18,113	20,588	13,347	13,347	0
正職員			千円	18,113	20,588	13,347	13,347	0
	人員		人	2.2	2.5	1.6	1.6	0.0
再任用等			千円	0	0	0	0	0
	人員		人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員			千円	0	0	0	0	0
経費			千円	0	0	0	0	0
減価償却費			千円	0	0	0	0	0
その他			千円	0	0	0	0	0
コスト指標			千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

令和元年度予算までは文化事業・法人会計分及び国際交流事業をあわせて算定していたが、令和元年度決算から評価表を分けることとした。財団資料となるためR6は未確定。（令和6年度中に確定）

事務事業名	220400 － 003	（公財）板橋区文化・国際交流財団運営助成（国際交流）

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し	

事業実績は新型コロナウイルスの影響から低くとどまっていたが、オンラインの併用により可能な限り事業を実施した。令和5年5月8日から新型コロナウイルスの感染症法の位置付けが5類に移行されたため、さらなる参加者数の増加が見込まれる。引き続き新型コロナウイルスの拡大防止に留意しながら、多文化理解の促進や日本語学習機会の提供を図る。

前回の二次評価結果への対応状況

対応状況	対応済	

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]　達成度：A

1.活動指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上
2.成果指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上
3.計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	

[中間アウトカムとの整合性]　寄与度：A

（事務事業は）中間アウトカムに寄与しているか	大きく寄与している

コロナ禍から1年経過したことにより、多文化共生推進イベント参加者数、外国人の日本語学習事業の参加者数の増加に大きく寄与している。

[フルコストの把握・分析]　コスト評価：A

1.コストは最適であるか	最適である
2.コスト最適化への取組状況	

財団事業について毎年実績確認して金額確定しており、その事業内容及び区民への貢献度を考えると、その運営を維持するためには現状の助成金額は最適であると言える。これまで財団の経営計画2021の着実な実施によりコスト最適化は進行してきた。今後も、経営計画2025の着実な推進を要請していく。

[改善の方向性]

1.方向性を選択してください	事業手法の見直し
2.具体的な手段を選択してください	コスト維持／活動・成果指標の向上
3.中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	

ポストコロナ時代になって1年が経過するため、事業方法や周知を見直し、日本語教室の定員増や国際理解教育の回数増に努める。

【二次評価】 所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し

事業実績は、ポストコロナで昨年度に比べ、増加した。区内在住外国人人数が増加していることから、今年度もさらなる参加者数の増加が見込まれる。引き続き、多文化理解の促進や日本語学習機会の提供を図っていく。

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）　モニタリング

事務事業名	220400 － 004	事務費			
担当所属	文化・国際交流課	担当者	－	連絡先	3579-2018
関連所属					

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220400	国際性豊かな地域社会づくり			
根拠法令要綱					
計画事業番号		事業期間	～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 区内在住もしくは区と交流のある外国人 【手段】 公式訪問における通訳・翻訳の手配、食事の手配等をする。冊子の印刷を行う。国際交流連絡会を開催する。 【意図】 各種国際交流事業を有意義かつ実効性あるものに展開する。 【成果】 外国人に板橋区の魅力を伝え、さらに国際交流を推進する。	【現状の周辺環境】 板橋区に表敬訪問に来る外国人や花火大会に招待する外国人は母国に帰任する場合があるなど参加者数は、年度によって波がある。 【区民からの意見】 区ホームページに、板橋区紹介冊子「In and Around」が掲載されており、留学時に自分の住んでいる板橋区を紹介することができて嬉しかった。 留学生対象の防災訓練は、様々な大学に声がけをし、拡充を進めてほしい。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
				実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①	活動指標	通訳・翻訳の手配件数	件	1.0	1.0	1.0	2.0	200.0	1.0	1.0
			達成率(%)	100.0	100.0	100.0	200.0		100.0	令和 7年度
②	活動指標	国際交流連絡会開催回数	回	1.0	1.0	1.0	1.0	100.0	1.0	1.0
			達成率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	令和 7年度
③	成果指標	花火大会招待枠参加外国人数	人	0.0	0.0	40.0	43.0	107.5	40.0	40.0
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	107.5		100.0	令和 7年度
④	成果指標	留学生対象の防災訓練参加者数	人	0.0	5.0	50.0	34.0	68.0	50.0	50.0
			達成率(%)	0.0	10.0	100.0	68.0		100.0	令和 7年度
⑤										
			達成率(%)							

特記事項

③については、令和元年度以来、4年ぶりに行われた。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	10,069	13,530	16,831	16,831	29,922
事業費			千円	1,013	3,648	6,821	6,821	19,912
	特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都支出金	千円	0	0	0	0	0
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,013	3,648	6,821	6,821	19,912
人件費			千円	9,056	9,882	10,010	10,010	10,010
	正職員		千円	9,056	9,882	10,010	10,010	10,010
		人員	人	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2
	再任用等		千円	0	0	0	0	0
		人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員		千円	0	0	0	0	0
経費			千円	0	0	0	0	0
	減価償却費		千円	0	0	0	0	0
	その他		千円	0	0	0	0	0
コスト指標			千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

表敬訪問される来賓客の人数等は流動的であり、年度によって通訳料や食糧費が変動する。。令和2年度決算は、新型コロナウイルス感染症拡大により表敬訪問がなかったため、通訳・翻訳の手配がなかったことによる減少。また、東京2020大会の延期により海外姉妹友好都市等の受入がなくなったため減少。令和4年度はウクライナ避難民への一時金や消耗品の支給により増加。

令和 6年度　施策評価表　　モニタリング

施策名	220500	平和都市の推進									
SDGｓ（関連性のあるGOAL）											
基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち										
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化										
所管部長	総務部長				所管課長	総務課長					
関連所管											

【施 策 基 本 情 報 】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
【概要】 板橋区平和都市宣言に掲げた理念を区内外に伝え、平和意識の醸成を図る。 【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 ・教育委員会は子どもの学ぶ機会の創出 ・被爆地自治体は戦争が風化しないための資料提供や機会の提供 【主な取組】 板橋区平和都市宣言記念事業	学校や教育委員会、地域住民など様々な主体と連携を取りながら、次代を担う子どもたちをはじめ、区民が平和の大切さをより理解するとともに、互いに伝え合うことで、一層の平和意識が醸成されている状態。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度 実績	令和 4年度 実績	令和 5年度 実績	令和 6年度 計画	目標値 目標年度
施策指標	①	平和啓発事業来場者の平和意識向上率	%	84.2	87.4	92.2	—	100.0
			達成率(%)	84.2	87.4	92.2	—	令和 7年度
	②	戦争体験を語り継ぐことが大切だと思う区民の割合	%	91.6	—	92.6	—	100.0
			達成率(%)	91.6	—	92.6	—	令和 7年度
	③							
			達成率(%)					
	④							
			達成率(%)					
	⑤							
			達成率(%)					

特記事項

「平和の旅」の参加者数を従来の規模に戻し実施することができた。また、「平和のつどい」において、「中学生平和の旅体験発表」の場を設けたことや、平和と戦争に関する朗読劇やピアノ演奏を行ったことが、令和５年度の参加者満足度の実績数値が上昇した一因と考えられる。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年　度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	5,744	11,512	13,904	10,882	15,443
事業費			千円	804	6,571	8,899	5,877	10,438
	特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都支出金	千円	0	0	0	0	0
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	226	216	164	164	164
	一般財源		千円	578	6,355	8,735	5,713	10,274
人件費合計			千円	4,940	4,941	5,005	5,005	5,005
経費			千円	0	0	0	0	0

フルコストの増減理由

「中学生広島・長崎平和の旅」において、台風の影響により「長崎平和の旅」を中止し、代替事業（都内平和関連施設バスツアー）を実施。

施策名	220500	平和都市の推進

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容

評価標語／改善の方向性	－	

－

前回の評価結果への対応状況

対応状況	－	

－

【一次評価】所管部長による評価

［成果の分析］ １．施策目標に対する成果（実績値）の推移

評価	概ね順調	

「中学生平和の旅」の実施により、被爆地や戦争平和関連施設の若い世代からの訪問により実践的な平和学習を行う事ができた。さらに、「平和のつどい」において、「中学生平和の旅体験発表」の場を設けたことや、平和と戦争に関する朗読劇やピアノ演奏を行ったことが、令和５年度の参加者満足度の実績数値が上昇した一因と考えられる。

［成果の分析］ ２．目標と成果にギャップがある場合の要因

［アウトカムの分析］ 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か

評価	妥当	

平和都市宣言記念事業における「中学生広島・長崎平和の旅」や「平和絵画・原爆展」を進めていくことで、区民の平和に対する意識は向上する。こうした取組みを継続的に進めていくことで、中間アウトカム「平和に対する意識が高まる」に寄与しており、妥当である。

［環境変化の分析］ 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）

評価	検討中	

効果的な平和に対する関心が高まる平和都市宣言事業実施方法等を検討していく。（具体的には、平和のつどいにおける体験発表の方法や、第2部の実施内容等）なお、事業実施にあたっては区議会及び区で構成される実行委員会において経費や実施効果等を十分に検討していく。また、関心を高めるためにはイベントだけでなく、情報発信も有用なので、ＳＮＳ等を活用し、その点も強化していく。

［今後の展開方針］ 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか

「中学生広島・長崎平和の旅」については中学生の参加人数を従来の人数に戻し、効果的に実施することができている。
「平和のつどい」については、映像・音楽・朗読と新たな手法を用いて区民の平和意識の醸成に寄与することができた。今後の実施にあたっては、効果的な広報活動を行うとともに、区民が関心を持ち、積極的に区の平和事業に参加できるようなデジタルコンテンツを研究して、企画、実施していく。

【二次評価】区の最終評価

評価評語／改善の方向性	《順調／工夫して継続》

来年は戦後80年の節目の年を迎える。今後の時代の変化にあわせてデジタルコンテンツの活用を進め、特に若年層への啓発を中心に、広い世代に対して平和意識の向上を周知し、平和こそが区民生活の基本であり、あるべき姿であることを前提に、平和都市の推進に取り組むこと。

【施策を構成する事務事業一覧】

（単位：千円）

事務事業名	R　5年度決算 フルコスト	R　6年度予算 フルコスト
220500 -001 平和都市宣言記念事業経費	10,882	15,443

令和 6年度　事務事業評価表　（ 令和 5年度 事務事業 ）

事務事業名	220500 － 001	平和都市宣言記念事業経費			
担当所属	総務課	担当者	－	連絡先	3579-2052
関連所属					

【事 務 事 業 基 本 情 報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ－２心躍るスポーツ・文化				
施策	220500	平和都市の推進			
根拠法令要綱	板橋区平和都市宣言、板橋区平和都市宣言記念事業実行委員会設置要綱				
計画事業番号		事業期間	昭和60年度　～	施設種別	

【事 業 概 要 ・ 環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 区内小中学生及び学校関係者、区内在住及び在勤者 【手段】 １　平和絵画・原爆展（区役所本庁舎・赤塚支所） ２　中学生平和の旅（広島・長崎） ３　平和のつどい ４　平和展 ５　平和の灯の保守（モニュメント） 【意図】 昭和60年1月1日に行った板橋区平和都市宣言を記念し、各種平和事業を実施することで区民の平和意識の醸成や高揚を図る。 【成果】 参加者満足度、平和絵画・原爆展応募作品数、中学生平和の旅活動日、平和のつどい参加者数	【現状の周辺環境】 世界平和は人類共通の願いであるが、世界では今でも多くの核兵器が存在し、また、民族・地域紛争やテロ行為などによる多くの死傷者があとを絶たず、世界平和実現を困難なものとしている。 【他自治体との比較】 全２３区で平和事業を実施しているが、そのうち８区で、被爆地自治体等への派遣事業を実施している。

【指 標 の 推 移】

区分		指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
				実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①	活動指標	平和絵画・原爆展開催期間	日	13.0	15.0	14.0	14.0	100.0	18.0	—
			達成率(%)	—	—	—	—		—	—
②	活動指標	中学生広島・長崎平和の旅活動日数（事前・事後学習含）	日	2.0	16.0	16.0	15.0	93.8	16.0	—
			達成率(%)	—	—	—	—		—	—
③	成果指標	参加者満足度	%	84.2	87.4	90.0	92.2	102.4	90.0	90.0
			達成率(%)	93.6	97.1	100.0	102.4		100.0	令和 7年度
④	成果指標	平和絵画・原爆展応募作品数	点	290.0	208.0	100.0	272.0	272.0	100.0	100.0
			達成率(%)	290.0	208.0	100.0	272.0		100.0	令和 7年度
⑤	成果指標	平和のつどい参加者数	人	73.0	470.0	0.0	650.0	0.0	0.0	—
			達成率(%)	—	—	—	—		—	—

特記事項

「平和のつどい」において、「中学生平和の旅体験発表」の場を設けたことや、平和と戦争に関する朗読劇やピアノ演奏を行ったことが、令和５年度の参加者満足度の実績数値が上昇した一因と考えられる。

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

年度			単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト			千円	5,744	11,512	13,904	10,882	15,443
事業費			千円	804	6,571	8,899	5,877	10,438
	特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都支出金	千円	0	0	0	0	0
		特別区債	千円	0	0	0	0	0
		受益者負担	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	226	216	164	164	164
		一般財源	千円	578	6,355	8,735	5,713	10,274
人件費			千円	4,940	4,941	5,005	5,005	5,005
	正職員		千円	4,940	4,941	5,005	5,005	5,005
		人員	人	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
	再任用等		千円	0	0	0	0	0
		人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員		千円	0	0	0	0	0
経費			千円	0	0	0	0	0
	減価償却費		千円	0	0	0	0	0
	その他		千円	0	0	0	0	0
コスト指標	絵画応募作品数・つどい参加者		千円	15.82	16.98	—	11.80	—

フルコストの増減理由

令和４年度が前年度と比べて増加した理由は、３年ぶりに、中学生広島・長崎平和の旅を実施したことによる経費増である。
また、令和５年度が前年度と比べて減少した理由は、台風の影響により長崎の平和の旅を中止したことによる経費減である。

事務事業名	220500 － 001	平和都市宣言記念事業経費

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し	

令和４年度は、「中学生広島・長崎平和の旅」や「平和のつどい」において、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら工夫して実施した。引き続き事業の広報活動に重点を置き、区民が関心を持ち、積極的に区の平和事業に参加できるようなデジタルコンテンツ（静止画・動画・絵本テイスト・アンケート機能など）による事業手法を企画・実行していく

前回の二次評価結果への対応状況

対応状況	対応済	

令和５年度は、前回の二次評価を踏まえて、「中学生広島・長崎平和の旅」は引き続き感染症対策には留意しつつ、過去の経験を生かしながら事業に取り組めた。「平和のつどい」においては、映像・音楽・朗読と新たな手法を用いて取り組むことができた。また、平和事業のホームページにおいては「中学生平和の旅の感想文集」のバックナンバーを閲覧できるようにした。平和のつどいの映像もYoutubeに掲載し、平和の大切さへの理解を図った。

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]　達成度：A

1.活動指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上
2.成果指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上
3.計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	

[中間アウトカムとの整合性]　寄与度：B

（事務事業は）中間アウトカムに寄与しているか	寄与している

平和都市宣言記念事業における「中学生広島・長崎平和の旅」や「平和絵画・原爆展」を進めていくことで、区民の平和に対する意識は向上する。こうした取組みを継続的に進めていくことで、中間アウトカム「平和に対する意識が高まる」に寄与している。

[フルコストの把握・分析]　コスト評価：B

1.コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる
2.コスト最適化への取組状況	

「中学生広島・長崎平和の旅」や「平和のつどい」において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から工夫して実施したが長崎平和の旅が中止になった事で結果として経費は減になった。今後の実施にあたっては、事業手法や規模等を総合的に考慮し、経費の最適化を図っていく。

[改善の方向性]

1.方向性を選択してください	事業手法の見直し
2.具体的な手段を選択してください	コスト維持／活動・成果指標の向上
3.中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	

効果的な平和に対する関心が高まる平和都市宣言事業実施方法等を検討していく。（具体的には、平和のつどいにおける体験発表の方法や、第2部の実施内容等）なお、事業実施にあたっては区議会及び区で構成される実行委員会において経費や実施効果等を十分に検討していく。また、関心を高めるためにはイベントだけでなく、情報発信も有用なので、ＳＮＳ等を活用し、その点も強化していく

【二次評価】 所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し

「中学生広島・長崎平和の旅」についてはコロナ禍に制限していた中学生の参加人数を従来の人数に戻し、効果的に実施することができている。「平和のつどい」については、初めて実施した映像・音楽・朗読を織り交ぜた催しは幅広い世代に好評価をいただいており、区民の平和意識の醸成に寄与することができたと評価している。今後の実施にあたっては、効果的な広報活動を行うとともに、区民が関心を持ち、積極的に区の平和事業に参加できるようなデジタルコンテンツを研究して、企画、実施していく。